倉敷埋蔵文化財センター年報 9

ー平成13・14年度ー

倉敷埋蔵文化財センター

2004.3

序

一昨年、倉敷埋蔵文化財センターは開館10年目を迎えました。平成5年4月に開館して以来、埋蔵文化財行政の拠点施設としての役割とともに、ライフパーク倉敷内の一施設として、埋蔵文化財に関する普及・啓発活動を生涯学習の中に位置付けてまいりました。平成13年度からは組織改編により、文化財保護課に属することとなりましたが、これまで同様、市内における埋蔵文化財調査を実施するとともに、各種講座や企画展・講演会など、埋蔵文化財に関する普及・啓発活動にも積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

普及・啓発活動としては、春の遺跡見学会等定期の講座を行ったほか、平成14年度末には企画展「おしゃれ むかしむかし」とその関連講座を実施しました。また、入門講座等の基礎的な講座の実施にも努めてまいりました。

調査業務としては、平成13年度は4件、平成14年度は2件の確認・試掘調査を実施しました。景気回復の遅れを反映してか、市内での大規模な開発行為は少なく、遺跡の全面発掘調査にいたったものは皆無でした。こうした傾向は文化財保護の面から見れば、遺跡の破壊が減ったことを意味し、むしろ喜ぶべきことかもしれません。

本年報では、平成13・14年度に実施した調査事業および生涯学習事業についての概要をまとめたものです。本小冊子が郷土の歴史や埋蔵文化財に対する市民の一層の理解を深めるため、いささかでも役立つものとなれば幸いと存じます。

最後になりましたが、調査をはじめ講座・企画展等の実施にあたり、ご指導ご協力を賜りました関係の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも市民各位のより一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成16年3月20日

倉敷埋蔵文化財センター
館長　松浦憲弘

例　言

1. 本書は、倉敷埋蔵文化財センターが平成13・14(2001・2002)年度に行った、埋蔵文化財保護行政の概要についてまとめたものである。
2. 発掘調査は、倉敷埋蔵文化財センター主任鍵谷守秀・同学芸員小野雅明・藤原好二・中野倫太郎が担当した。
3. 調査事業報告において、調査報告としているものについては本報告をもって正報告とする。
4. 本書の執筆は各担当者が分担して行い、調査事業報告についてはそれぞれ文責を記した。全体編集は藤原が行った。
5. 出土遺物の整理は倉敷埋蔵文化財センターで行い、整理にあたっては、石井恵子・藤川明日香・田中玲子・三宅絢子の協力を得た。
6. 調査地位置図で使用した地形図は、倉敷市発行の50,000分の１の都市計画図を縮小したものであり、その他の位置図に使用したのは、倉敷市発行の都市計画図を複製または縮小したものである。
7. 本書に関する実測図・写真・遺物等は、全て倉敷埋蔵文化財センターで保管している。

目　次

2001年度

Ⅰ 組　織 …… 1

Ⅱ 事業の概要 …… 2

Ⅲ 普及・啓発事業報告 …… 4

主催講座 …… 4

Ⅳ 調査事業報告 …… 6

亀山遺跡確認調査報告 …… 9

金浜上遺跡確認調査報告 …… 10

浅原地内試掘調査報告 …… 11

上東遺跡確認調査報告 …… 12

Ⅴ 寄贈図書一覧 …… 13

2002年度

Ⅰ 組　織 …… 25

Ⅱ 事業の概要 …… 26

Ⅲ 普及・啓発事業報告 …… 28

1．企画展「おしゃれ むかしむかし」 …… 28

2．企画展関連行事 …… 28

3．主催講座 …… 30

4．ライフパークの集い …… 32

Ⅳ 調査事業報告 …… 34

上東遺跡確認調査報告 …… 37

日畑廃寺確認調査報告 …… 38

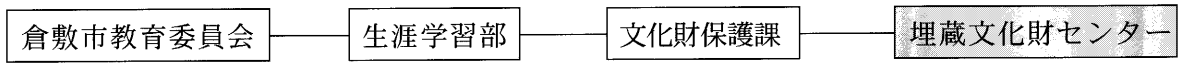
Ⅴ 寄贈図書一覧 …… 40

平成13(2001)年度

Ⅰ 組 織

埋蔵文化財センターは、これまでライフパーク倉敷の中の一施設として業務を行ってきたが、2001年度の組織改編によって新たに文化財保護課に属することとなった、業務としては以前と変わりなく、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。2001年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷埋蔵文化財センター機構図



文化財保護課	課 長	中村 博
埋蔵文化財センター	館長	松浦 憙弘
〃	主 任	鍵谷 守秀（科学センター学芸員兼務）
〃	学芸員	小野 雅明
〃	〃	藤原 好二
〃	〃	中野 倫太郎
〃	〃	片岡 弘至
〃	臨時職員	石井 恵子
〃	〃	藤川 明日香
〃	〃	田中 玲子

（職名等は2002年3月31日現在）

平成13年度 埋蔵文化財センター協議会

会 長	間壁 忠彦	（学識経験者）
副会長	河本 清	（ 〃 ）
委 員	松本 晟	（小学校校長会代表）
〃	山磨 健一	（中学校校長会代表）
〃	難波 英明	（高等学校校長会代表）
〃	藤井 和代	（PTA連合会代表）
〃	柿並貴久恵	（学識経験者）
〃	早川美也子	（ 〃 ）

Ⅱ 事業の概要

1. 埋蔵文化財センター協議会

(1) 協議会　平成13年７月18日(水)　会場：ライフパーク倉敷「第３会議室」

議　事　1. 平成12年度埋蔵文化財センター関係事業報告について

2. 平成13年度埋蔵文化財センター関係事業計画について

3. その他

2. 調査事業

(1) 発掘調査　今年度は確認調査４件、立会調査18件、測量調査１件を実施した。また、開発面積が1,000㎡を越える事業についての事前協議は64件で前年度と比較すると減少傾向にある。

(2) 分布調査　倉敷・庄地区の235遺跡を踏査し、整理後は遺跡台帳をパソコンに入力した。

3. 普及・啓発事業

(1) 主催講座

タイトル	開　催　日	回数	延べ人数
春の遺跡見学会⑥	01.5.20	1回	46人
夏休み親子考古学教室	01.7.26	1回	10人
塩と鉄の王国	01.11.18・11.25・12.2	3回	130人

(2) 出前講座等講師派遣

派遣内容	依頼団体	開催日	人数
土器によるご飯炊き	味野小学校	01.6.26	70人
出前講座・埋蔵文化財等について	玉島女性セミナー	01.7.12	52人
歴史入門講座・下津井城跡	灘崎町教育委員会	01.7.14	33人
古代の土笛作り	茶屋町公民館	01.7.24	39人
古代の土笛作り	富田小学校	01.7.25	35人
調査報告会・寒田窯跡群4号	岡山県古代吉備文化財センター	01.8.4	180人
古代の土笛作り	柏島小学校	01.8.7	27人
出前講座・庄地区の埋蔵文化財	中備史談会	01.8.26	20人
文化講座・王墓の丘史跡公園	明治カルチェ・ヴィヴアン	01.9.20	50人
土器によるご飯炊き	豊洲小学校	01.10.11	57人
下津井城の発掘調査	中国地区城館調査検討会	01.10.20	60人
郷土史講座	多津美公民館	01.12.20	25人

(3) ライフパークの集い

2001年８月19日(日)のライフパークの集いでは、昨年度に引き続き「ドキドキ！発掘体験」を実施し、1,607人の入場者があった。

(4) 報告書等の刊行

倉敷埋蔵文化財センター年報８　－2000年度－

Ａ４版　本文65P　700部　2002年３月刊行

(5) 貸出資料

年月日	貸出先	資料名		点数
平成13年				
5月10日	岡山県立吉備路郷土館	矢部遺跡	龍形土製品	1点
		板谷コレクション	舟形土製品	1点
		〃	分銅形土製品	1点
5月23日	倉敷市立連島南小学校	船倉貝塚	縄文土器	1点
		〃	石鏃	11点
		〃	石匙	3点
		〃	石鏃	11点
11月15日	真備町歴史民俗資料館	楯築遺跡	ﾎﾟｼﾞﾌｨﾙﾑ	2点
		寒田窯跡群４号	ﾎﾟｼﾞﾌｨﾙﾑ	3点

4. 利用者数

展示・講座等を含めた今年度の利用者数は下表のとおりである。開館日数293日に対し入館者数は9,793人で、１日平均33.4人が利用していることになる。昨年度と比較して２割減となった。企画展がなかったことや講座の開催が少なかったことが、直接、利用者数に反映された形となった。

【平成13年度利用者集計表】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数		25	24	26	25	27	24	25	24	22	22	23	26	293(日)
入館者数	一般	291	397	388	446	1,171	358	308	389	264	293	258	345	4,935(人)
	児童	321	883	306	418	1,415	202	483	150	138	153	143	246	4,858(人)
合計		612	1,280	694	864	2,586	560	791	539	402	446	428	591	9,793(人)

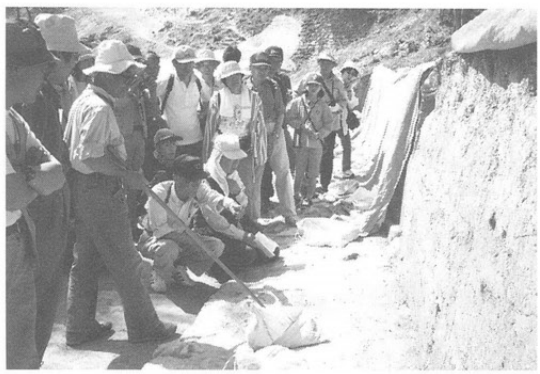
Ⅲ 普及・啓発事業報告

主催講座

1）春の遺跡見学会⑥

～総社市鬼ノ城～

講　　師　村上幸雄（総社市埋蔵文化財学習の館）
日　　時　平成13年5月20日(土)
対　　象　一般
参 加 者　46人



総社市「鬼ノ城」は第3回の遺跡見学会で訪ねた遺跡であるが、近年の発掘調査によって新たな発見が続いたため、再び見学会を開催することとなった。

開催日は天気もよく、遺跡を散策するには絶好の日和であった。総社市埋文学習の館の村上館長から、新たに発見された水門の構造や、調査中の石垣などについて説明を受けた。角楼と呼ばれる防御施設や城門の一部も復元されており、参加者は熱心に観察し、昔日の城郭の面影に思いをはせていた。

2）夏休み親子考古学教室

日　　時　平成13年7月26日(木)
会　　場　倉敷市少年自然の家
対　　象　小学校高学年と保護者
受 講 者　10人

当センターが開館以来行っている講座で、今回で9回目を数える。内容としては、「まいぎり」による火おこしと土器によるご飯・みそ汁作りなどを体験した。まず、ご飯・みそ汁の作り方の手順や火おこしの方法を実演を交えながら説明した後、各親子班に分かれて作業を行った。初体験にもかかわらずあっという間に火を着ける班、何度やってもあと一歩で火が消えてしまう班と様々であるが、小さな種火を炎にすることができれば、どの班も大きな失敗もなく、おこげ付きのご飯とみそ汁、鶏のホイル焼きを味わうことができた。

3）塩と鉄の王国－古代吉備の源動力を探る－

講　　師　第1回 臼井洋輔（岡山県立博物館）
「吉備勢力を支えた塩と鉄」
第2回 間壁葭子（倉敷考古館）
「古代吉備の塩作り」
第3回 湊 哲夫（津山郷土博物館）
「吉備の製鉄と古代国家形成」
日　　時　平成13年11月18日・25日・
12月2日(日)
会　　場　ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」
対　　象　一般
受 講 者　130人(延べ人数)

古代吉備の重要な産物である塩と鉄をテーマに、3名の講師をお招きして開催した。

第1回は臼井洋輔氏の講演で、前半は刀剣と製鉄技術についての話をお聞きした。岡山の刀工たちが、不純物の多い赤目鉄の性質を巧みに利用して多くの名刀を生んだ背景には、異質なものを融合させる岡山人独特の知恵があると論じた。後半の塩の話では、古式の方法で海水から抽出した「本来の塩」を味わい、現在一般に市販されている「食塩」との違いを確かめた。

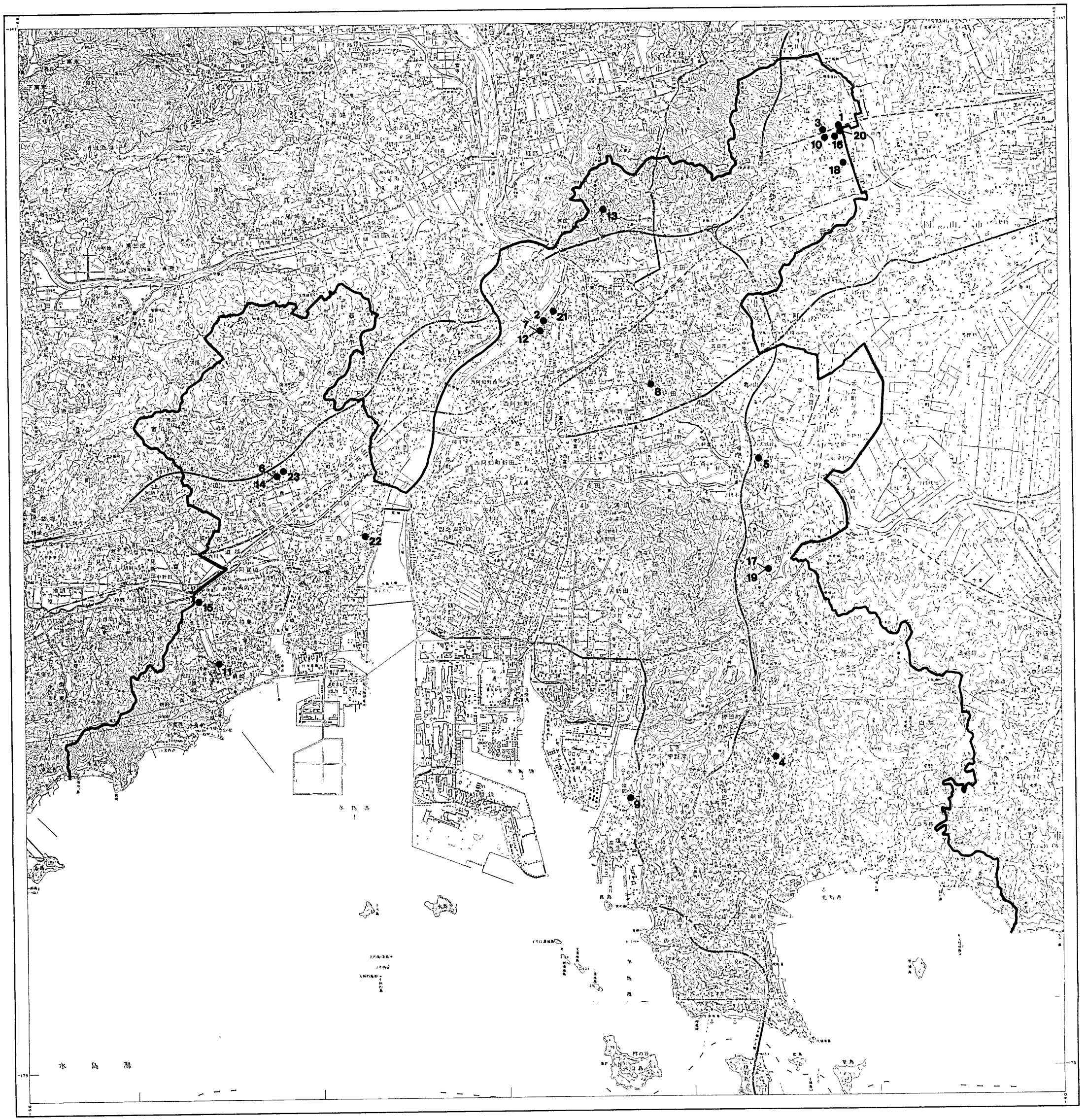
第2回は間壁葭子氏の講演で、自らの製塩土器研究の話をお聞きした。師楽式土器が、天日を利用して海水を濃縮する容器としても使用された可能性を想定し、実験を行った結果、師楽式土器の材質、形状、容量はその機能を果たすのに理想的であることが検証された。そして、この土器製塩は、晴天の多い瀬戸内地方ならではの方法として再評価された。

第3回は湊 哲夫氏の講演で、吉備の製鉄が国家形成に果たした役割について論じた。吉備で本格的な鉄生産が始まるのは6世紀後半で、その契機は、中央政権の政策による技術の導入とした。そして、稼働体制が確立すると、これが分業システムに組み込まれ、律令体制を整える段階で、吉備の鉄を都に納めるという形で国家形成に関与していったと結論付けた。

Ⅳ 調査事業報告

2001年度調査一覧表

No.	遺　跡　名	調　査　地	調査原因	区別	調査期間	備　考
1	上東遺跡	上東84-3外	道路改良工事	立会	01.4.4・4.12	弥生土器・須恵器
2	酒津-水江遺跡	酒津地内	下水管埋設工事	立会	5.15	遺物・遺構無し
3	上東遺跡	上東才ノ元516-7・514-3	店舗増築工事	立会	5.18	弥生土器
4	稗田城ノ辻城跡	児島稗田町地内	下水管埋設工事	立会	6.7	遺物・遺構無し
5	鳳山遺跡	天城台1-4-3地先	水道管切替工事	立会	7.5	〃
6	亀山遺跡	玉島八島字石塔3404-1外	道路改良工事	確認	8.29～8.30	亀山焼
7	酒津-水江遺跡	水江地内	下水管埋設工事	立会	10.30	遺物・遺構無し
8	船倉貝塚	船倉町字柳ヶ坪1466	アンテナ設置工事	立会	11.1	〃
9	金浜上遺跡	児島塩生字馬越3380-2外	墓地造成工事	確認	11.13	〃
10	上東遺跡	上東542-1	水路改良工事	立会	11.22	〃
11	正保堤	玉島勇崎728-7番地先	道路改良工事	立会	11.29	〃
12	酒津-水江遺跡	水江地内	下水管埋設工事	立会	12.7	〃
13	－	浅原893	宅地造成	試掘	12.11	〃
14	亀山遺跡	玉島八島字石塔3404-1外	道路改良工事	立会	12.11	亀山焼
15	桜の堤	玉島勇崎地内	排水管埋設工事	立会	02.1.18	遺物・遺構無し
16	上東遺跡	上東343-1番地先	道路改良工事	立会	1.24	〃
17	鼻高山城跡	串田字城之原617-1	鉄塔立替工事	測量	2.6	堀切
18	上東遺跡	下庄96番地外	水路改修工事	立会	2.6・2.13	遺物・遺構無し
19	鼻高山城跡	串田字城之原617-1	鉄塔立替工事	立会	2.12	堀切
20	上東遺跡	上東字下亀川110-1外	店舗建設工事	確認	2.19	遺物・遺構無し
21	酒津-水江遺跡	酒津地内	下水管埋設工事	立会	2.20	〃
22	白銀山遺跡	玉島字狐島1060-1	水道管埋設工事	立会	2.21	〃
23	北川遺跡	玉島八島地内	下水管埋設工事	立会	2.26	〃



調査地位置図(S＝1/100,000)

亀山(かめやま)遺跡確認調査報告

調　査　地　玉島八島字石塔3404-1外
調査原因　道路改良工事　　調査面積　4㎡
調査期間　010829～010830　　調査担当者　小野・中野

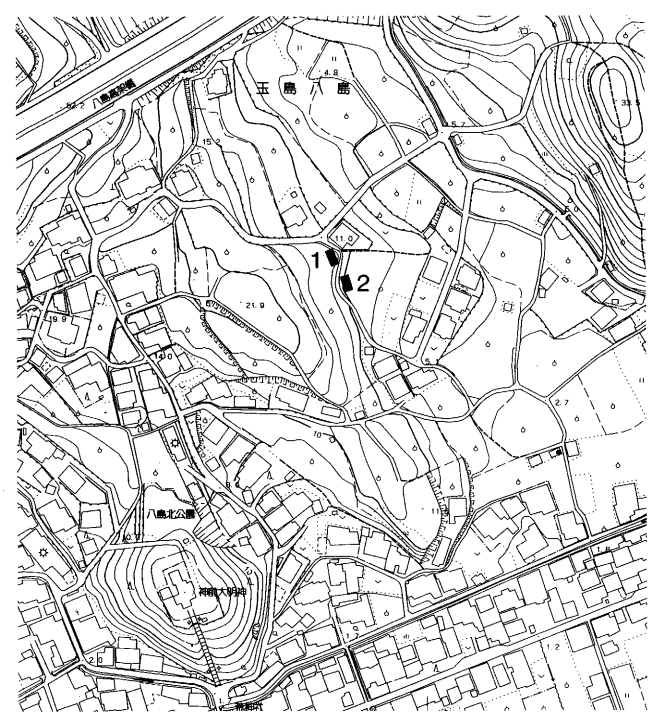
遺跡の概要　ＪＲ新倉敷駅の北西約１km、玉島八島の丘陵南斜面は、須恵器の流れを汲む中世の焼き物「亀山焼」の窯跡地として知られている。窯業生産の遺跡以外にも貝塚、墳墓などの当時の生活跡が残されており、これらの遺跡群を一括して亀山遺跡と呼んでいる。岡山県教育委員会により、遺跡範囲の北部一帯が山陽自動車道建設に伴って調査され、亀山焼窯跡６基、灰原、土器溜りや掘立柱建物、墓跡、貝塚などが検出され、本遺跡の一端が明らかにされている。

調査の概要　調査地は、神前神社の北東250ｍ。山陽自動車道八島高架橋の架かる谷筋の東斜面で、標高約12ｍに位置する。亀山焼窯跡群７号・８号の下手にあたる部分であり、周辺は桃畑として開墾されている。工事計画区域のうち、既存の道路を大幅に拡幅する２カ所に２ｍ×１ｍのトレンチを設定して行った。

道路からの高さ約1.2ｍの石垣に画された畑地に設定されたトレンチ１では、厚さ約40㎝の耕作土の下に、付近の地山を削って盛土が行われたことを示す厚さ40～60㎝の造成土がみられる。造成土の中には、灰原に由来する炭混じり黒色土がブロック状に入り込み、亀山焼も少量含まれる。開墾により、周辺に存在する灰原の一部が破壊されていることがうかがわれた。その下、地山直上には厚さ20～30㎝の灰色弱粘質土が堆積する。上層は造成の際に撹乱されているが、若干の亀山焼小片が含まれている。炭化物と土砂が均質に混ざり合ったような土質や希薄な遺物密度から、灰原が流出して溜った二次堆積ではないかと思われる。

道路からの落差約1.0ｍの桃畑に設定されたトレンチ２では、耕作時の天地返しによって地山まで撹乱を受けていることが判明した。しかし、撹乱層と地山との境に、厚さ５㎝くらいの黒褐色土層が残っている部分が確認され、この層から亀山焼、土師質土器が地山に貼り付くように出土している。おそらくこのあたりまでは中世の遺物包含層が分布していたのであろう。

今回の調査地は、桃の栽培が広範囲に行われている地区であり、果樹園の造成が遺跡に及ぼす影響は大きいことが知られた。このような状況にあって、灰原もしくは遺物包含層の痕跡をかろうじて確認できたといえる。　（小野）



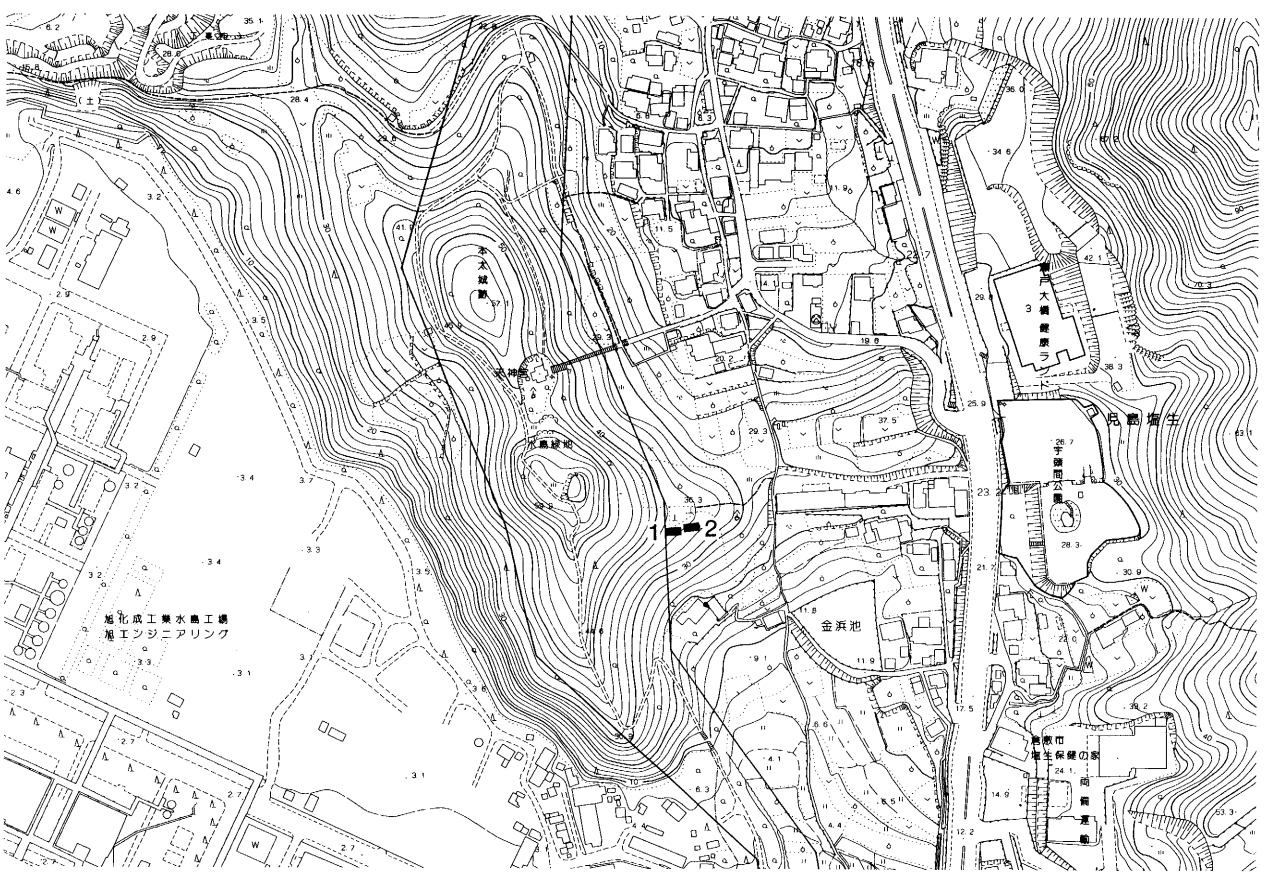
トレンチ配置図（S＝1/5,000）

金浜上遺跡（かなはまかみ）確認調査報告

調　査　地　児島塩生字馬越3380-2外
調査原因　墓地造成工事　　調査面積　4㎡
調査期間　011113　　調査担当者　小野・中野

遺跡の概要　金浜上遺跡は、児島半島西岸にあたる倉敷市児島塩生の臨海丘陵地に位置する旧石器時代を中心とした散布地である。2000年に実施した遺跡分布調査における表面観察によると、宇頭間の天神宮の南側尾根筋と東に延びる尾根筋においてナイフ形石器や石匙などの遺物の散布が確認されている。

調査の概要　今回の調査地は、宇頭間の天神宮南にある標高60mの山頂から東に延びる尾根の南斜面、標高30～40mに位置する。開発予定区域のすぐ北側は既に墓地として造成されているが、その南東は傾斜の急な雑木林で、自然地形が残されている。調査は、斜面が緩傾斜から急傾斜へと変わる両者の境界部分に2カ所のトレンチ(2m×1m)を設定して土層観察を中心に行った。トレンチ1・2とも表土の下は厚さ60cm程度の均質な花崗岩バイラン土の堆積層がみられ、その下、地表から約80cmで風化の進んだ花崗岩の岩盤層に達する。いずれの層からも遺構・遺物包含層は検出されず、周辺からの遺物の流れ込みも認められない。以上のような調査結果から、遺跡の範囲は当該地まで及ばないと判断される。　(小野)



調査地位置図(S＝1/5,000)

浅原地内（あさばらちない）試掘調査報告

調　査　地　浅原893番地
調査原因　宅地造成工事　　調査面積　4㎡
調査期間　011211　　調査担当者　鍵谷・藤原

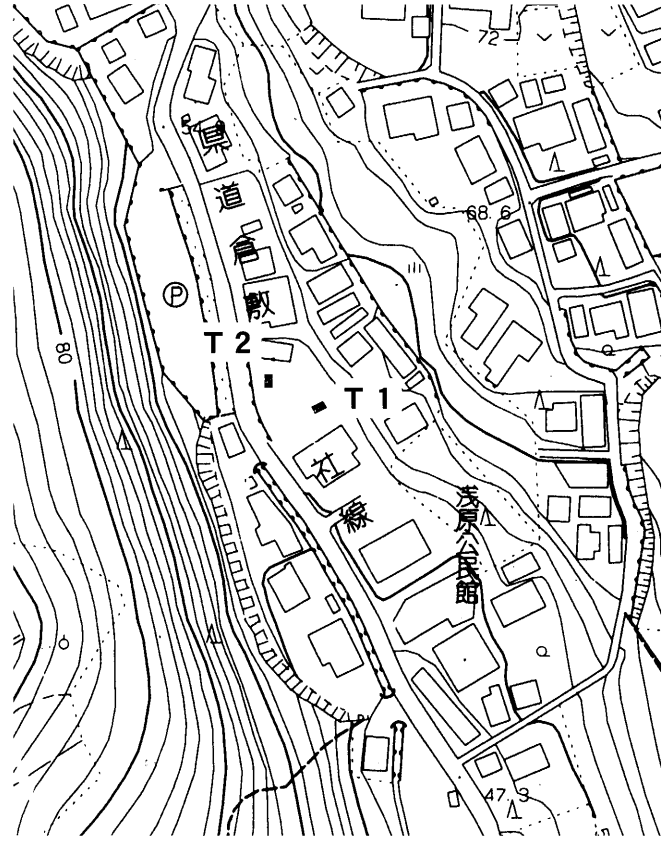
遺跡の概要　当該地は、倉敷市浅原安養寺の南約500m、県道倉敷総社線の東に接する宅地で、近年まで民家が建っていた部分である。かつて、般若心経を鋳込んだ銅版がこの付近から出土したと言われ、現安養寺が移転してくる前の寺に関連した建物の存在も考えられる地点である。今回、宅地取引に伴い住宅の建設も予想されることから、事前に試掘調査を行ったものである。

調査の概要　調査は、宅地内に幅1m、長さ2m程度のトレンチを2カ所設定して行った。

トレンチ1の土層は、地表下30cmまでは宅地に伴う造成土で、その下には旧耕作土と思われる20cm程度の灰オリーブ色土が存在する。以下、約10cmの褐灰色土を挟んでにぶい黄色土となるが、この層には拳大から人頭大の礫が多量に含まれており、地山と考えられる。遺物としては、旧耕作土から江戸時代の土鍋片が1点出土したほか、近現代の土器片が造成土からわずかに出土した。

トレンチ2は、宅地の北端、やや西よりに設定した。地表下約30cmまでは比較的近年の土層と思われ、その下3層には拳大の礫が多く含まれている。やや粘質を帯びたこれらの土は、最下層では灰色の砂質混じりの土へと変わっており、谷底近くの状況を呈していた。遺物としては、造成土中から近現代のものと思われる瓦片が少量出土したのみであった。なお、トレンチ2の西側には、自然地形を利用した用水が県道の東側に接して流れており、この用水路の擁壁には岩盤が露出している。ところが、これと同じ高さでトレンチ2では岩盤が確認できないことから、もともとの谷筋は現在の用水よりやや東の、トレンチ2付近を通っていたと思われる。

今回の調査では、遺構及び遺物包含層は検出されず、遺跡の存在を確認することはできなかった。また、遺物の出土も造成土と旧耕作土からのみであり、トレンチ1・2における状況と合わせて考えれば、この地点に遺跡が存在した可能性も低いと思われる。　（鍵谷）



調査地位置図（S＝1/2,000）

上東(じょうとう)遺跡確認調査報告

調　査　地　上東字下亀川110-1外
調査原因　店舗建設工事　　調査面積　12㎡
調査期間　020219　　調査担当者　小野・藤原

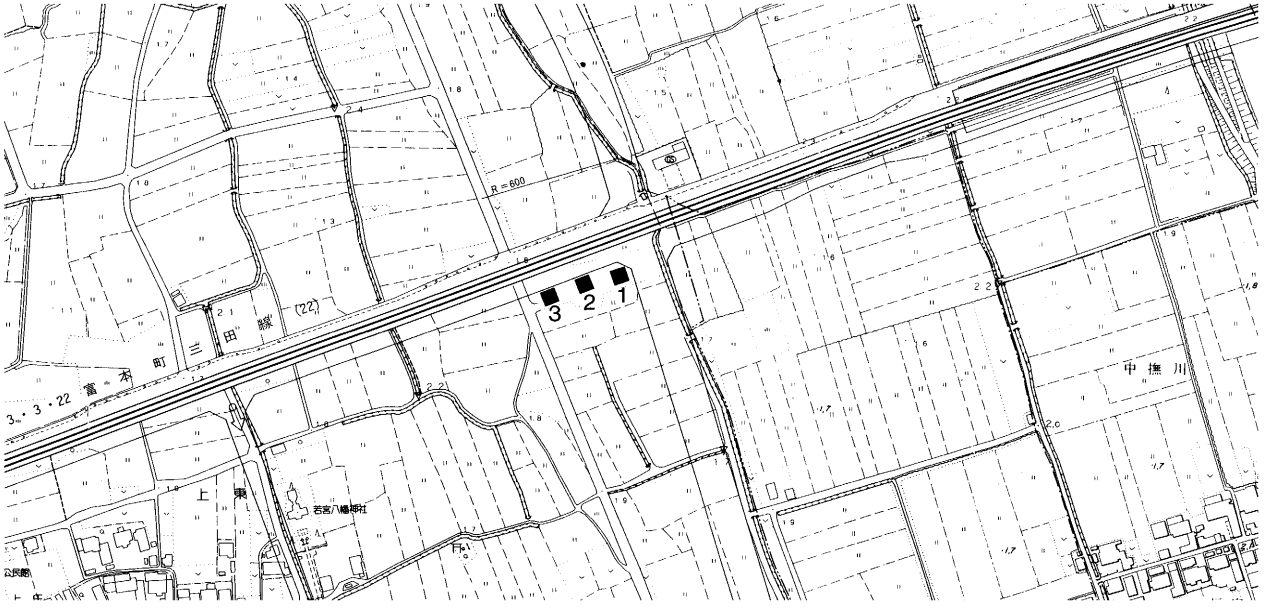
遺跡の概要　上東遺跡は、足守川の沖積地に立地する弥生時代後期を中心とした集落遺跡である。岡山県教育委員会により山陽新幹線建設工事・都市計画道路建設工事・主要地方道箕島高松線改良工事に伴う調査が実施され、各路線部分における遺跡の広がりが明らかとなった。

調査の概要　調査地は、先述の調査で設定された亀川調査区のすぐ南に位置する。亀川調査区では、西に隣接する東鬼川市から続く微高地の東端が検出されており、ここより東に約90m離れた才の町の微高地までは、亀川の地名が示す旧河道が埋没していることが確認されている。この場所はもとは水田であったが、造成のために付近の水田より60cmほど高くなっている。

調査は、2m×2mのトレンチを3カ所設定して行ったが、土層の堆積状況はどれも似通ったものであった。造成土の下は本来なら水田耕作土に続いて堆積層がみられるはずであるが、厚さにして50～80cmの間は大規模に撹乱を受けている状態であった。撹乱層の下は、オリーブ灰色砂質土、炭化物と植物遺体を含む厚さ10～20cmの暗灰色粘質土、マンガン粒を含む緑灰色粘質土が続き、それぞれの層が明瞭な境目をもって水平に堆積している。ここまで遺構・遺物包含層は認められず、激しい湧水のため地表下1.9mで掘削を終了した。

今回の調査では、河道内とは言え、遺物包含層を確認することはできなかった。水田耕作土層やその直下の堆積層が大規模な撹乱を受けているため、先述の亀川調査区の土層堆積状況と比較することは困難であるが、暗灰色粘質土が多量の土器を含むことで知られる亀川上層に対比できるかもしれない。

(小野)



調査地位置図(S＝1/5,000)

V 寄贈図書一覧(2001.4.1～2002.3.31)

【北海道　01】	
(財)北海道埋蔵文化財センター	ウサクマイN遺跡、キウス4遺跡(7)、キウス4遺跡(8)、テエタ第5号、テエタ第6号、テエタ第7号、ポンシラリカ1遺跡・黒岩3遺跡、ユカンボシC15遺跡(4)、虎杖浜2遺跡、山越2遺跡、山崎4遺跡、対雁2遺跡(2)、調査年報13 -平成12年度-、日の出4遺跡・日の出10遺跡、白滝遺跡群Ⅱ、米原3遺跡・宮戸3遺跡・米原4遺跡、野田生5遺跡
苫小牧市埋蔵文化財調査センター	苫小牧の埋蔵文化財No.14［縄文時代・晩期編］、苫小牧市埋蔵文化財調査センター所報3
釧路市埋蔵文化財調査センター	海峡と北の考古学資料集Ⅰ・Ⅱ、大楽毛1遺跡調査報告書Ⅰ
鵡川町教育委員会	米原3遺跡
(財)アイヌ文化振興・研究推進機構	よみがえる北の中・近世 -掘り出されたアイヌ文化-、収蔵品目録2
【 青森県　02】	
青森県埋蔵文化財調査センター	ネットワーク発掘 第10号・第11号、十三湊遺跡Ⅵ
【 岩手県　03】	
(財)岩手県文化振興事業団	ゴッソー遺跡発掘調査報告書、稲村Ⅱ遺跡発掘調査報告書、紀要ＸＸ、宮沢遺跡発掘調査報告書、栗林遺跡発掘調査報告書、市部内遺跡発掘調査報告書、志羅山遺跡発掘調査報告書、似内遺跡発掘調査報告書、篠館跡発掘調査報告書、秋浦Ⅰ遺跡発掘調査報告書、秋浦Ⅱ遺跡発掘調査報告書、上野遺跡発掘調査報告書、成谷遺跡発掘調査報告書、清水ヶ野遺跡発掘調査報告書、西長岡長谷田遺跡・沼田遺跡発掘調査報告書、石持Ⅰ遺跡発掘調査報告書、石持Ⅰ遺跡発掘調査報告書、台太郎遺跡第18次発掘調査報告書、台太郎遺跡第22次発掘調査報告書、大崎遺跡発掘調査報告書、沢田Ⅰ遺跡発掘調査報告書、中居俵Ⅱ遺跡発掘調査報告書、中野台遺跡発掘調査報告書、中和田遺跡発掘調査報告書、長谷堂貝塚発掘調査報告書、島田Ⅱ遺跡発掘調査報告書、東舘Ⅱ遺跡発掘調査報告書、南畑遺跡発掘調査報告書、尿前Ⅱ遺跡Ｂ地区発掘調査報告書、堀切遺跡発掘調査報告書
(財)水沢市埋蔵文化財調査センター	水沢遺跡群範囲確認調査 -平成10年度-、水沢遺跡群範囲確認調査 -平成12年度-、胆沢城 -平成12年度発掘調査概報-
【 宮城県　04】	
多賀城市埋蔵文化財調査センター	高崎・西沢遺跡、高崎遺跡 -第17次調査報告-、市川橋遺跡、西沢遺跡ほか、多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 -平成12年度-
古川市教育委員会	名生館官衙遺跡ＸⅦ、名生館官衙遺跡ＸⅧ、名生館官衙遺跡ＸⅨ・南小林遺跡
仙台市富沢遺跡保存館	市民文化財研究員活動報告書5、仙台市富沢遺跡保存館研究報告4、地底の森 第15号、地底の森ミュージアム年報 第5号、編む・組む -技の考古学-
【 山形県　06】	
米沢市教育委員会	遺跡詳細分布調査報告書 第14集、古志田東遺跡、大浦Ｂ遺跡発掘調査報告書、米沢市文化財年報 No.13
【 福島県　07】	
(財)郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団	蒲倉古墳群、郡山市埋蔵文化財分布調査報告8、荒井猫田遺跡(Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ区)、守山城跡、小泉山田Ａ遺跡(第4次)、清水台遺跡 -第12・14・15Ｂ・21次調査報告-、西前坂遺跡、埋もれていた中世のまち -荒井猫田遺跡-
(財)いわき市教育文化事業団	いわき市教育文化事業団研究紀要 第11号、横山Ｂ遺跡、夏井廃寺、荒田目条里遺跡、松ノ下遺跡、石坪遺跡、千速Ａ遺跡、大谷遺跡
【 茨城県　08】	
(財)茨城県教育財団	愛宕山古墳、下大井遺跡、鎌田遺跡、九重東岡廃寺確認調査報告書1、熊の山遺跡、

	研究ノート10号、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策工事に伴う埋蔵文化財調査報告書、坂戸遺跡、十万原遺跡1、中原遺跡3、長野江向山遺跡、津賀城跡、殿開遺跡、島名前野遺跡、年報20
(財)ひたちなか市文化・スポーツ振興公社	フィールドノートvol.13、見てみよう聞いてみよう！その8、向野Ⅲ、船窪Ⅳ、武田西塙遺跡
土浦市教育委員会	いさろ遺跡、下郷遺跡・下郷古墳群、土浦市立博物館紀要 第11号
上高津貝塚ふるさと歴史の広場	上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第7号、土浦の旧石器、陸奥戦国記 -出土遺物にみる十六世紀の城と村-
【 栃木県 09】	
(財)栃木県文化振興事業団	鹿沼流通業務団地内遺跡、免の内台遺跡
(財)とちぎ生涯学習文化財団	ヘビ塚遺跡、やまかいどうNo.27～No.29、権現山遺跡・百目鬼遺跡、研究紀要 第9号、古橋Ⅰ・Ⅱ遺跡、上神主・茂原、茂原向原、北原東、大関台遺跡、谷向・国谷馬場・中の内・惣宮・鍋小路、鶴田A遺跡Ⅱ、藤岡神社遺跡(本文編)、那須官衙関連遺跡Ⅶ、馬門南遺跡Ⅱ、北の前遺跡(縄文～古代編)、埋蔵文化財センター年報 第11号(平成13年度)、竜地遺跡
栃木県教育委員会	栃木県埋蔵文化財保護行政年報23 -平成11年度-
小山市教育委員会	小山の文化財第13号、小山市文化財保護調査年報6、小山氏城跡範囲確認調査報告書Ⅰ
宇都宮市教育委員会	城南3丁目遺跡、多気城跡
【 群馬県 10】	
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	くにのはな -上野国分寺をめぐるモノと人-、ぐんま遺跡探検、愛宕山遺跡、遺跡に学ぶ第15号～第17号、下阿内壱町畑遺跡・下阿内前田遺跡、亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川遺跡、研究紀要19、古墳と埴輪 -展示レポート4-、荒砥宮川遺跡・荒砥宮原遺跡、荒砥荒子遺跡、今井道上・道下遺跡、宿横手三波川遺跡、小八木志志貝戸遺跡群2、小八木志志貝戸遺跡群3、西横手遺跡群、西長岡南遺跡・菅塩西両台遺跡・成塚永昌寺遺跡・成塚石橋遺跡Ⅱ、石墨遺跡、中組遺跡、長久保大畑遺跡・新田入口遺跡、徳丸仲田遺跡(1)、年報 -20-、波志江中野面遺跡(1)、白川笹塚遺跡・白石浦久保遺跡・白岩民部遺跡、八寸長溝遺跡、舞台遺跡(1)、平成11年度地域教材開発研究・研修報告書、埋文群馬No.34～No.37
藤岡市教育委員会	滝前C遺跡・稲荷屋敷遺跡
【 埼玉県 11】	
(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団	まま上遺跡、下野田稲荷原遺跡、研究紀要第16号、原遺跡、小池氏館跡、深作稲荷台遺跡Ⅱ、神ノ木遺跡、村中遺跡、大寄遺跡Ⅱ、大木前／小栗北／小栗／日向、中尾緑島遺跡、堂地遺跡、南久我原遺跡Ⅱ、如意遺跡、年報21、馬場裏遺跡Ⅱ、箱石遺跡Ⅱ
埼玉県立埋蔵文化財センター	発掘調査速報展
所沢市立埋蔵文化財調査センター	市内遺跡調査報告7、所沢市立埋蔵文化財調査センター年報No.6、東の上遺跡・山下後遺跡、本村遺跡 -第5次調査-
川本町教育委員会	上本田遺跡Ⅰ
飯能市教育委員会	落合上ノ台遺跡
鶴ヶ島市教育委員会	羽折遺跡第1次調査発掘調査報告書、仲道柴山遺跡5・6次発掘調査報告書
春日部市教育委員会	花積内谷耕地遺跡6次・花積台耕地遺跡5次・谷向遺跡・塚内16号墳・塚内17号墳
【 千葉県 12】	
(財)印旛郡市文化財センター	フィールドブックvol.8～vol.9、印旛郡市文化財センター研究紀要2、岩名古墳群(2号墳・3号墳)、戸ノ内遺跡第5地点、佐倉城跡(天神曲輪)、獅子穴Ⅳ遺跡、上本佐倉上宿遺跡(第4次)、大生城跡・関戸砦跡、第5回遺跡発表会発表要旨、馬場遺跡(第1地点)・北台塚、物井松葉作遺跡第2地点、柳沢牧西光明坊野馬土手・柳沢牧北神田向野馬土手、六崎外出遺跡(第4次)、六崎貴舟台遺跡(第8次)

(財)君津郡市文化財センター	きみさらず第17号～第18号、井尻遺跡、君津郡市文化財センター年報No.18 -平成11年度-、根形台遺跡群Ⅰ、三直中郷遺跡発掘調査報告書、上用瀬遺跡Ⅲ、谷ノ台遺跡Ⅲ
(財)山武郡市文化財センター	一本松遺跡、金谷郷遺跡群Ⅰ、駒形台遺跡、沓掛貝塚遺跡、研究ノート山武第2号、財団法人山武郡市文化財センター年報No.16、西椎崎台遺跡、台前遺跡、台前遺跡・上引切遺跡、文化財かわら版第12号、油井古塚原遺跡・滝木浦遺跡
(財)香取郡市文化財センター	伊地山遺跡Ⅱ、加止里第6号、五十塚遺跡、事業報告Ⅹ -平成11年度-、所城跡、大崎城跡、長津台2号遺跡(1)、長津台2号遺跡(2)、島八幡下遺跡、名木不光寺遺跡
(財)東総文化財センター	東総文化財センター年報6～7
(財)千葉県文化財センター	夷隅町たかもりがだい城跡、羽計清水西遺跡、君津市寺ノ代遺跡、佐倉市池向遺跡、佐倉市六拾部遺跡、市原市永藤遺跡、市川市国府台遺跡第13地点、主要地方道松戸野田線住宅宅地関連埋蔵文化財調査報告書、主要地方道成田松尾線ⅩⅡ、習志野市津田沼二丁目遺跡、新シ山・柳和田台遺跡・青山中峰遺跡・青山宮脇遺跡、新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ、新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅣ、新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅤ、新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅥ、成田市大袋塔之下遺跡、千葉県文化財センター年報No.26 -平成12年度-、千葉東金道路(二期)埋蔵文化財調査報告書7、千葉東金道路(二期)埋蔵文化財調査報告書8、千葉東南部ニュータウン23、船橋市新山東遺跡、袖ヶ浦市文脇遺跡、東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財調査報告書7、東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財調査報告書8、東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財調査報告書9、富津市鳥井戸遺跡、房総の文化財vol.24～vol.27、木更津市四宝塚遺跡、木更津市四房遺跡、野田市南下夕村遺跡
(財)総南文化財センター	郷土の文化財20、針ヶ谷遺跡
船橋市教育委員会	飛ノ台貝塚第1・2次発掘調査報告書、飛の台貝塚第1・2次発掘調査報告書(科学分析編)、本郷台遺跡 -第4次発掘調査報告書-
市原市教育委員会	平成12年度市原市内発掘調査報告
芝山町教育委員会	平成12年度芝山町内遺跡発掘調査報告書
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究年報9、国立歴史民俗博物館研究報告第86集～第92集
千葉市立加曽利貝塚博物館	貝塚博物館紀要第28号
【 東京都 13】	
(財)東京都生涯学習文化財団	たまのよこやまNo.52～No.53、遺跡を翔けめぐる、市谷本村町遺跡、資料目録12、汐留遺跡、西龍ヶ崎遺跡 -第3次調査-、多摩ニュータウン遺跡、多摩ニュータウン遺跡 -No.200遺跡(第2・3次調査)-Ⅱ図版編、多摩ニュータウン遺跡 -No.210遺跡-、多摩ニュータウン遺跡 -No.471-B遺跡-、多摩ニュータウン遺跡 -No.939遺跡Ⅲ(2)-、多摩ニュータウン遺跡 -No.939遺跡Ⅲ(3)-、袋低地遺跡、天神前遺跡・瀬戸岡古墳群・上賀多遺跡・新道通遺跡・南小宮遺跡、縄文のむら -土器とくらし-、日野市栄町遺跡Ⅱ、板橋山之上遺跡、尾張藩上屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅴ、尾張藩上屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅶ、尾張藩上屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅷ、百人町三丁目西遺跡Ⅴ、留淵遺跡
宮内庁書陵部陵墓課	書陵部紀要第52号
文京区教育委員会	平成12年度 文京区の文化財
北区教育委員会	十条久保遺跡Ⅱ
葛飾区教育委員会	葛西城ⅩⅩ、古録天東遺跡Ⅴ、上千葉遺跡Ⅱ、正福寺遺跡Ⅱ、平成11年度葛飾区埋蔵文化財調査年報、平成12年度葛飾区埋蔵文化財調査年報
調布市郷土博物館	郷土博物館だよりNo.59～No.60、新・調布案内、調布の文化財第29号～第30号
港区立港郷土資料館	研究紀要6、港郷土資料館館報 -18-～-19-、港区立港郷土資料館所蔵 民俗資料目録第1集 -大工道具Ⅰ-、資料館だより第43号～第47号、色と人をめぐる文化誌 -『いろ・COLORな話』第一室-、色と人をめぐる文化誌 -『いろ・COLORな話』第二室-

日野新町一丁目住宅遺跡調査会	日野新町姥久保遺跡
明治大学博物館	明治大学博物館図書目録第4号、明治大学博物館年報2000年度
青山学院大学文学部史学研究室	青山史学第十九号
早稲田大学図書館	古代109号～110号
早稲田大学文学部考古学研究室	縄文の匠
都立学校遺跡調査会	駕篭町遺跡(都立小石川高校地点Ⅲ)
【 神奈川県 14】	
横須賀市教育委員会	埋蔵文化財発掘調査概報集Ⅸ
平塚市教育委員会	遠蔵遺跡他発掘調査報告書、山王Ｂ遺跡
藤沢市教育委員会	藤沢市文化財調査報告書第36集
【 富山県 16】	
(財)富山県文化振興財団	安居窯跡群発掘調査レポート、富山考古学研究第4号、北陸新幹線関係埋蔵文化財包蔵地調査報告(2)、埋蔵文化財調査概要 -平成12年度-、埋蔵文化財年報(12) -平成12年度-
富山県埋蔵文化財センター	とやまたくみノロジー、縄文のたくみ　弥生のたくみ、富山県埋蔵文化財センター年報 -平成11年度-、埋文とやま第75号～第78号
桜町遺跡発掘調査団	桜町遺跡発掘調査概報
【 石川県 17】	
金沢市埋蔵文化財センター	金沢市笠舞Ａ遺跡(Ⅴ)、金沢市昭和町遺跡Ⅰ、金沢市醒ヶ井遺跡、金沢市大桑町アナグチ遺跡、金沢市末古窯跡群Ⅱ、戸水大西遺跡Ⅱ、高岡町遺跡Ⅰ、神野遺跡Ⅱ、平成12年度金沢市埋蔵文化財調査年報
【 山梨県 19】	
山梨県埋蔵文化財センター	一番下堤跡、塩瀬下原遺跡(第4次調査)、横堀遺跡、研究紀要17、大塚古墳、道々芽木遺跡、立石下遺跡
山梨県立考古博物館	山梨県立考古博物館だよりNo.51
釈迦堂遺跡博物館	抽象文土器の世界
北巨摩市町村文化財担当者会	八ヶ岳考古 -平成10年度年報-、八ヶ岳考古 -平成11年度年報-
【 長野県 20】	
長野市埋蔵文化財センター	下箕ヶ谷遺跡、川田氏館跡・岩崎遺跡、浅川扇状地遺跡群、村南遺跡、長野吉田高校グランド遺跡Ⅱ、長野市埋蔵文化財センター所報No.12、徳間榎田遺跡、南宮遺跡Ⅱ、尾張城跡
長野県立歴史館	長野県立歴史館たよりvol.26春号
【 岐阜県 21】	
(財)岐阜県文化財保護センター	きずな第31号～第33号、佐口遺跡、寺屋敷遺跡・磯谷口遺跡、針田遺跡・東坪之内遺跡・田中浦遺跡、中山道
各務原市埋蔵文化財調査センター	かかみがはらの埋文第9号、ふな塚古墳発掘調査報告書、鵜沼古市場遺跡、鵜沼古市場遺跡Ｂ地区発掘調査報告書、古代の須恵器と各務原、大牧5号墳発掘調査報告書、北山古墳群、北山古墳群発掘調査報告書
(財)岐阜市教育文化振興事業団	平成11・12年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書
各務原市歴史民俗資料館	資料館だより第19号
【 静岡県 22】	
磐田市埋蔵文化財センター	京見塚古墳群発掘調査報告書、御殿・二之宮遺跡 -第67次発掘調査報告書-、山神古墳群12号発掘調査報告書、寺谷坂上古墳群発掘調査報告書
袋井市教育委員会	掛之上遺跡Ⅶ
伊東市教育委員会	伊東市内出土資料報告、東小学校遺跡・井戸川遺跡・猪戸遺跡のあらまし
【 愛知県 23】	
(財)愛知県埋蔵文化財センター	まいぶん愛知No.64～No.67

(財)瀬戸市埋蔵文化財センター	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要第9輯、広久手18・20・30号窯跡、瀬戸大窯とその時代、平成12年度瀬戸市埋蔵文化財センター年報
高浜市やきものの里かわら美術館	かわらの美、屋根 -写真家の目で-、瓦と喜怒哀楽、瓦と鳥 -鳥をえがく-、鳥をつくる、神谷英介 -直線と曲線のフォルム-、第36回朝日陶芸展、第37回朝日陶芸展、第38回朝日陶芸展、日本画の美 -大正～昭和初期のやまと絵-
名古屋市見晴台考古資料館	はじまりのムラ -なごやに稲作が伝わった頃-、見晴台教室'00、埋蔵文化財発掘調査報告書36～39、名古屋市見晴台考古資料館年報18、名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第3号
豊田市郷土資料館	三味線塚古墳、神明遺跡Ⅱ、不動1・2号墳・山ノ神神古墳・神神社古墳、豊田市郷土資料館だよりNo.37～No.39
名古屋大学文学部考古学研究室	名古屋大学文学部研究論集140
【 三重県 24】	
三重県埋蔵文化財センター	みえNo.32
津市埋蔵文化財センター	四ツ野Ｂ遺跡(第2次)・四ツ野古墳発掘調査報告、石切山遺跡(第1次)発掘調査報告 -自然科学分析編-、津市埋蔵文化財センター年報4～6、埋文センターニュース第13号～第14号、伊勢国府跡3、天王山西遺跡・三宅神社遺跡・梅田遺跡
松阪市教育委員会	国史跡松阪宝塚1号墳調査概報
上野市教育委員会	史跡旧崇廣堂保存整備事業　第Ⅱ期保存修理工事報告書、上野市埋蔵文化財年報7～8、御墓山窯跡発掘調査報告、高野遺跡発掘調査報告、国史跡旧崇廣堂(4～7次)発掘調査報告、上野城跡(第4次)発掘調査報告書
嬉野町教育委員会	下沖遺跡発掘調査報告書、嬉野町のほとけさん、嬉野町仏像調査報告書、平成12年度嬉野町文化財年報
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第2号
【 滋賀県 25】	
滋賀県埋蔵文化財センター	滋賀埋文ニュースNo.248号～No.263号、食器と調理具にみる「食」 -縄文時代から江戸時代まで-
守山市立埋蔵文化財センター	下長遺跡発掘調査報告書Ⅴ、吉身西遺跡第70次発掘調査報告書、守山市文化財調査報告書第59冊、守山市文化財調査報告書第62冊、守山市文化財調査報告書第63冊、守山市文化財調査報告書第64冊、守山市文化財調査報告書第66冊、赤野井遺跡発掘調査報告書、塚之越遺跡第13次発掘調査概要報告書
(財)滋賀県文化財保護協会	近江の奴振、滋賀文化財だよりNo.262～No.271、常楽寺、雪野寺跡、東海道水口宿、俳諧・和歌・古典の師　北村季吟、兵主神社の古神宝、陸路・海路の考古学 -高島・湖北バイパス関連遺跡-
(財)栗東町文化体育振興事業団	はっくつ2000 -栗東町話題の発掘調査-、栗東町文化財ウォークNo.2、栗東町埋蔵文化財発掘調査1999年度年報、栗東町埋蔵文化財発掘調査資料集1984年度、邪馬台国時代の大型建物
大津市埋蔵文化財調査センター	大津むかし・むかーし第10号
能登川町埋蔵文化財センター	能登川町埋蔵文化財調査報告書第50集～第51集
滋賀県教育委員会	吉身西遺跡、吉身西遺跡、宮司遺跡Ⅲ、金森東遺跡、穴太遺跡発掘調査報告書Ⅳ、源内峠遺跡、柴原南遺跡・大森陣屋遺跡、上出Ａ遺跡、上出Ｂ遺跡、上田遺跡、中兵庫遺跡、入江内湖西野遺跡、敏満寺西遺跡、弁天島遺跡、老蘇遺跡
長浜市教育委員会	鴨田遺跡 -第12次調査-、宮司遺跡、宮司東遺跡、宮司東遺跡2、松ノ木塚古墳・四ツ塚古墳・福満寺遺跡・平方遺跡、大辰巳遺跡 -第7次調査-、大戌亥遺跡、八幡東遺跡、平成11年度長浜市文化財保護年報、平方遺跡、矢正寺遺跡
日野町教育委員会	日野町埋蔵文化財発掘調査報告書第14集～第15集
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第35号～38号
大津市歴史博物館	大津市歴史博物館年報 -平成10・11年度-
滋賀県立琵琶湖博物館	うみんど第18号～第21号、米をつくる道具 -春・夏編-
滋賀県立大学人間文化学部考古学研究室	人間文化第10号～第11号

坂田郡社会教育研究会文化財部会	佐加太第11号～第15号
【 京都府 26】	
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第79号～82号
(財)京都市埋蔵文化財研究所	つちの中の京都2、研究紀要第7号、平安京左京二条四坊十町
京都市埋蔵文化財調査センター	京都市内遺跡試掘調査概報 -平成12年度-、京都市内遺跡発掘調査概報 -平成12年度-、京都市内遺跡立会調査概報 -平成12年度-
(財)向日市埋蔵文化財センター	向日市埋蔵文化財調査報告書第48集、長岡京跡ほか、長岡京跡二条大路ほか、年報都城13
京田辺市教育委員会	宮ノ下遺跡発掘調査概報、興戸遺跡第13次・第14次発掘調査概報、向谷遺跡・魚田遺跡第4次発掘調査概報、江津ほ場整備計画地内試掘調査概報、新宗谷遺跡発掘調査報告書
京都市考古資料館	岡崎・六勝寺を歩く、下三栖遺跡、丸底小鉢考、京の大仏さん、京都駅出土の汽車土瓶、京都御所の築地跡、京都市考古資料館年報 -平成11・12年度-、京都市考古資料館年報 -平成9・10年度-、京都地方・簡易裁判所の発掘調査、京都六条三坊八町の調査、賢瓶を探る、考古学もデジタル時代、斎宮の邸宅、四神に生きる都、七条ステンショの転車台、寂光院堂の調査、菖蒲谷池採集の石器、職人町の墓、是ヨリ北九州、沢ノ池畔の建物跡、中臣遺跡と古墳と木棺墓、土師器の窯、排水施設を持った大型住居、発掘成果をふりかえって1999、発掘成果をふりかえって2000、発掘成果をふりかえって2001、伏見城の金箔瓦、伏見城跡を歩く、平安京の瓦工房、方広寺跡の調査
古代の土器研究会	古代の土器研究 -律令的土器様式の西・東6-
京都橘女子大学	文化財学科ニューズ・レターNo.5～No.6
【 大阪府 27】	
(財)八尾市文化財調査研究会	財団法人八尾市文化財調査研究会報告67、平成12年度(財)八尾市文化財調査研究会事業報告
(財)枚方市文化財研究調査会	ひらかた文化財だより第44号～第49号、田中家鋳物工場跡、枚方市文化財年報21(1999年度分)、枚方市文化財年報22(2000年度分)
高槻市立埋蔵文化財調査センター	高槻市文化財年報平成11年度、高槻城キリシタン墓地、史跡・今城塚古墳 -平成12年度・第4次規模確認調査-、嶋上遺跡群25
堺市立埋蔵文化財センター	堺環濠都市遺跡、堺市文化財調査概要報告第91冊～第94冊、堺埋蔵文化財だより第14号、陶邑窯跡群、平成12年度国庫補助事業発掘調査報告書
(財)大阪府文化財調査研究センター	伽羅橋遺跡発掘調査報告書、久宝寺・竜華地区発掘調査報告書Ⅲ、駒ヶ谷遺跡Ⅱ、栗栖山南墳墓群、向出遺跡、住吉宮の前遺跡、小阪遺跡Ⅱ、小阪合遺跡、小島北磯遺跡、吹田操車場遺跡・吹田操車場遺跡Ｂ地点、船橋遺跡、太井遺跡、大河内展 -弥生社会の発展と古墳の出現-、大阪府埋蔵文化財研究会(第43回)資料、大阪文化財研究第19号～第20号、大文研通信No.18～No.19、大和川今池遺跡(その3・その4)、丹上遺跡、男里遺跡発掘調査資料、池島・福万寺遺跡発掘調査概要ＸＸＶ、池島・福万寺遺跡発掘調査概要ＸＸⅦ、長尾台地区、杉・氷室地区、津田城遺跡、有池遺跡、間門遺跡群、伯太北遺跡、箱作今池遺跡発掘調査報告書、野々井遺跡Ⅱ
豊中市教育委員会	蛍池西遺跡、蛍池北遺跡 -第1次発掘調査報告書-、文化財ニュース豊中No.28
枚方市教育委員会	検証　古代の河内と百済、枚方市埋蔵文化財発掘調査概要2000
東大阪市教育委員会	瓜生堂遺跡第46次発掘調査中間報告書、瓜生堂遺跡第47-1次発掘調査中間報告書、瓜生堂遺跡第49次発掘調査報告書、鬼虎川遺跡第44次発掘調査報告、鬼虎川遺跡第49次発掘調査報告、神並遺跡第26次発掘調査報告、西ノ辻遺跡第42次発掘調査報告、東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告 -平成11年度-、東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告 -平成12年度-、東大阪市埋蔵文化財発掘調査概報 -平成11年度-、東大阪市埋蔵文化財発掘調査概報 -平成12年度-、豊浦谷古墳群第1次発掘調査報告
羽曳野市教育委員会	羽曳野市内遺跡調査報告書 -平成10年度-、羽曳野市内遺跡調査報告書 -平成4年

	度-、羽曳野市内遺跡調査報告書-平成9年度-、古市遺跡群ＸＸⅡ
富田林市教育委員会	平成12年度富田林市内遺跡群発掘調査報告書
貝塚市教育委員会	加治・神前・畠中遺跡発掘調査概要9、海塚遺跡発掘調査概要、貝塚市遺跡群発掘調査概要22、貝塚市遺跡群発掘調査概要23、貝塚市内遺跡発掘調査概要、沢共同墓地遺跡発掘調査概要、沢城跡発掘調査概要、津田北遺跡発掘調査報告書
泉佐野市教育委員会	岡口・中嶋・小塚・白水池遺跡、宮ノ前遺跡-98-1区の調査-、市場西遺跡-00-1区の調査-、小塚遺跡-98-1・99-1区の調査-、泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要-平成11年度-、泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第39号～第43号
泉南市教育委員会	上代石塚遺跡発掘調査報告書、泉南市遺跡群発掘調査報告書ＸⅧ
池田市教育委員会	池田市埋蔵文化財発掘調査概報1999年度
吹田市教育委員会	あルック吹田／観光マップ、すいた歴史散歩、高城Ｂ遺跡第2次発掘調査報告書、吹田の旧石器時代、平成12年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
大阪府立弥生文化博物館	弥生クロスロード-再考・信濃の農耕社会-、弥生倶楽部vol.20～vol.21、弥生都市は語る-環濠からのメッセージ-、弥生都市は語る 資料集、弥生文化博物館要覧-平成12年度-
大阪府立近つ飛鳥博物館	モノクロームの守り神-画像石と十二支像-、荘厳-飛鳥・白鳳仏のインテリア-、大阪府立近つ飛鳥博物館　館報6、博物館だより-アスカディア・古墳の森vol.14～vol.15
大阪市立博物館	大阪市立博物館報No.40
吹田市立博物館	吹田市文化財ニュースNo.22、吹田市立博物館館報1、吹田市立博物館とその周辺、博物館だよりNo.17
大阪府立狭山池博物館	古代の土木技術、常設展示案内
八尾市立歴史民俗資料	研究紀要第12号、八尾市立歴史民俗資料館報-平成11年度-
大阪大学考古学研究室	リキア地方ビザンティン遺跡調査団ニューズレターNo.1、古墳時代前・中期における埋葬人骨と親族関係-近畿の資料を中心に-、勝福寺古墳測量調査報告書
大阪大学文学部埋蔵文化財調査室	待兼山遺跡Ⅲ
【 兵庫県　28】	
兵庫県教育庁埋蔵文化財調査事務所	ひょうごの遺跡第39号～第42号、奥新田東古墳群、外野野遺跡、丸塚遺跡発掘調査報告書、貴船神社遺跡、亀田遺跡(第1分冊)、亀田遺跡(第2分冊)、久留美・跡部窯跡群、向山古墳群・市条寺古墳群・一乗寺経塚・矢別遺跡、高松町遺跡、三釈迦山北麓の遺跡、志方窯跡群Ⅰ、志方窯跡群Ⅱ　-投松支群-、大釜向山遺跡、大亀谷山古墳、長坂遺跡、二郎宮ノ前遺跡、白沢3・5号窯、福島古墳群(13・14号墳)、兵庫県埋蔵文化財研究紀要創刊号、平成11年度年報、北摂ニュータウン内遺跡調査報告書Ⅶ、木之内城跡
神戸市教育委員会	古代のメインロード-山陽道沿線物語-、御蔵遺跡第17・38次発掘調査報告書、御蔵遺跡第4・6・14・32次発掘調査報告書、住吉宮町遺跡第19次・20次調査、住吉宮町遺跡第24次・32次発掘調査報告書、上沢遺跡発掘調査報告書-第35次-、昔むかしのたべものは？、二葉町遺跡発掘調査報告書、萩原城遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書-第1・3・5次-、平成10年度神戸市埋蔵文化財年報
姫路市教育委員会	特別史跡姫路城跡Ⅰ、姫路市埋蔵文化財調査略報-平成11年度-
赤穂市教育委員会	東有年・沖田遺跡の風景
龍野市教育委員会	北山遺跡
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報vol.10
加古川市教育委員会	奥新田西古墳発掘調査報告書、行者塚古墳の時代、文化財ニュースNo.44
加東郡教育委員会	埋蔵文化財調査年報-2000年度-
中町教育委員会	多哥寺遺跡Ⅱ、東山古墳群Ⅱ、牧野・町西遺跡・思い出遺跡群Ⅲ
佐用郡教育委員会	平成11年度埋蔵文化財調査年報
神戸市立博物館	縄文再発見事業報告書
兵庫県立歴史博物館	兵庫歴博ニュースNo.72～No.73

赤穂市立歴史博物館	検証・赤穂事件、赤穂「義士」の手紙
播磨町郷土資料館	大中の古代人どんな暮らししてたの？
大手前大学史学研究所	瓦-近代の酒蔵所用-、神戸市・下山手遺跡、南所3号墳試掘報告
【 奈良県 29】	
奈良市埋蔵文化財調査センター	古代・中世のリサイクル-先人たちの千恵と工夫-、奈良市埋蔵文化財調査センター紀要1998、奈良市埋蔵文化財調査センター紀要1999、奈良市埋蔵文化財調査センター紀要2000、奈良市埋蔵文化財調査概要報告書-平成10年度-、奈良市埋蔵文化財調査概要報告書-平成11年度-
桜井市立埋蔵文化財センター	桜井市内埋蔵文化財1999年度発掘調査報告書3、山の辺古道と古代大和政権-奈良分地の狩人たちの足跡-、集落遺跡のあゆみ-その変遷とくらし-、平成11年度国庫補助による発掘調査報告書、平成12年度国庫補助による発掘調査報告書、平成6年度国庫補助による発掘調査報告書2、纒向の古墳
田原本町教育委員会	田原本町埋蔵文化財調査年報10-2000年度-、唐古・鍵遺跡100年、唐古・鍵遺跡の考古学、矢部南遺跡発掘調査報告-第1・2次調査-
橿原市千塚資料館	かしはらの歴史をさぐる8～9
(財)元興寺文化財研究所	永野原遺跡、旧練兵場遺跡、軍原遺跡、財団法人元興寺文化財研究所案内、大篠原西遺跡、日輪城(恒吉城)跡
天理大学文学部考古学研究室	古事第5冊
天理大学附属天理参考館	天理参考館施設案内、天理参考館常設展示図録、天理参考館報第14号
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報第十九集
【 和歌山県 30】	
(財)和歌山市文化体育振興事業団	史跡和歌山城第22次発掘調査概報、発掘物語2001、鳴神Ｖ遺跡第5次発掘調査概報、和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報6-1996・1997年度-
(財)和歌山県文化財センター	かせ田荘(窪・荻原遺跡)、溝の口遺跡発掘調査報告書、根来寺坊院跡、秋月遺跡発掘調査概報、小松原Ⅱ遺跡、小松原Ⅱ遺跡(湯川氏館跡)発掘調査報告書、和歌山県文化財センター年報1996、和歌山県文化財センター年報1997、和歌山県文化財センター年報1998、和歌山県文化財センター年報1999、和歌山県文化財センター年報2000、和歌山城跡
【 鳥取県 31】	
(財)鳥取県教育文化財団	霞遺跡群、佐貫上台遺跡、市瀬市奥遺跡、出土文化財活用の手引き、青谷上寺地遺跡3、大塚岩田遺跡・大塚塚根遺跡、鳥取県の弥生時代資料(写真集)
(財)米子市教育文化事業団	吉谷銭神遺跡Ⅰ、埋蔵文化財調査室年報2、目久美遺跡
(財)鳥取市文化財団	服部墳墓群
鳥取市教育委員会	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平楯蔵跡発掘調査報告書、平成12年度鳥取市内遺跡発掘調査概要報告書
倉吉市教育委員会	観音堂1号墳発掘調査報告書、船沖遺跡発掘調査報告書、倉吉市内遺跡分布調査報告書11、大御堂廃寺跡発掘調査報告書、大平ラ遺跡・八幡山遺跡発掘調査報告書、沢ベリ遺跡第3次発掘調査報告書、法華寺畑遺跡環境整備事業報告書
鳥取県教育委員会	むきばんだ弥生だよりNo.2、妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2000、倭国大いに乱れる～むきばんだは語る～
北条町教育委員会	町内遺跡発掘調査報告書第10集
智頭町教育委員会	市瀬小茗荷谷遺跡
【 島根県 32】	
島根県埋蔵文化財調査センター	いにしえの川津を掘る、かわらけ谷横穴墓群の研究、ドキ土器まいぶんNo.13～No.16、塩津丘陵遺跡群・小久白墳墓群、蟹谷遺跡・上沢Ⅲ遺跡・古志本郷遺跡Ⅲ、丸山遺跡・大槙釿跡、岩屋遺跡・平床Ⅱ遺跡、熊谷遺跡・要害遺跡、古志本郷遺跡Ⅱ、古代体験マニュアル　vol.2、戸井谷尻遺跡・長老畑遺跡、御崎谷遺跡・大床遺跡、荒畑遺跡・ラント遺跡・野田遺跡、山陰道まいぶんマップ、山代二子塚古墳、山代

	二子塚古墳整備事業報告書、上野遺跡・竹ノ崎遺跡、西川津遺跡Ⅷ、石見銀山、石見銀山遺跡ニュースNo.1～No.2、石見銀山遺跡総合調査概報(1)、石見焼関連遺跡調査報告1、石見焼関連遺跡調査報告2、長廻横穴墓群・長廻遺跡(vol.1)、湯の奥遺跡・登安寺遺跡・湯後遺跡・土井・砂遺跡、堂床遺跡、斐伊川放水路発掘物語PART7、布志名大谷Ⅰ遺跡(1号墳)、布志名大谷Ⅲ遺跡、埋蔵文化財調査センター年報Ⅸ -平成12年度-、茂芳目遺跡・布志名遺跡・大堤Ⅱ遺跡・大堤Ⅰ遺跡・樅の木古墳群・真野谷遺跡、惠良遺跡・堂々炭窯跡・上条遺跡・水戸神社跡・立女遺跡
(財)松江市教育文化振興事業団	埋蔵文化財課年報Ⅳ平成10～11年度、埋蔵文化財課年報Ⅴ平成12年度
松江市教育委員会	雲垣遺跡発掘調査報告書、奥山古墳群発掘調査報告書、田中谷遺跡(Ⅲ区)発掘調査報告書、田和山遺跡
安来市教育委員会	安来市内遺跡分布調査概報Ⅱ、永源寺要害・宮谷1号墳、古代出雲王陵の丘、小汐手遺跡・黒井田小林遺跡、八神横穴墓群
出雲市教育委員会	下古志遺跡、出雲市斐伊川放水路発掘調査概報2、出雲市埋蔵文化財発掘調査報告書第11集、天神遺跡第11次発掘調査報告書、斐伊川放水路建設予定地内発掘調査報告書Ⅲ
津和野町教育委員会	喜時雨遺跡、津和野城下町　祇園町遺跡
頓原町教育委員会	森Ⅴ遺跡
島根県立八雲立つ風土記の丘資料館	八雲立つ風土記の丘No.165・No.168
島根大学埋蔵文化財調査研究センター	島根大学構内遺跡第10次調査(橋本地区3)
【 岡山県　33】	
岡山県古代吉備文化財センター	岡谷大溝散布地・三須今溝遺跡・三須河原遺跡・三須畠田遺跡・井出見延遺跡・天原遺跡、下庄遺跡・上東遺跡、原尾島遺跡・沢田遺跡、所報吉備第30号～第31号、上東遺跡、船山遺跡、旦山遺跡2、津島遺跡3、津島遺跡を探る2、天瀬遺跡・岡山城外堀跡、発掘された久田の埋蔵文化財Ⅱ、百間川の遺跡探検2001、平田遺跡
津山弥生の里文化財センター	津山城資料編Ⅱ、津山弥生の里第8号、的場古墳群
岡山市埋蔵文化財センター	岡山市埋蔵文化財調査の概要-1999年度-、三手向原遺跡、史跡岡山城跡本丸下の段発掘調査報告、足守藩武家屋敷跡・Ⅱ
岡山県教育委員会	岡山県埋蔵文化財報告31
井原市教育委員会	井原市遺跡地図
総社市教育委員会	総社市埋蔵文化財調査年報10(平成11年度)、総社市埋蔵文化財調査年報11(平成12年度)
邑久町教育委員会	邑久町遺跡地図
長船町教育委員会	長船町史通史編
矢掛町教育委員会	清水谷遺跡
鏡野町教育委員会	鏡野町史考古資料編
北房町教育委員会	定東塚・西塚古墳
牛窓町教育委員会	牛窓町史 -通史編-
灘崎町教育委員会	左古谷遺跡
真備町教育委員会	蚊蜂遺跡、和唐寺遺跡
津山郷土博物館	津山松平藩町奉行日記九、津山藩の江戸屋敷、博物館だよりNo.30～No.33
倉敷市立自然史博物館	宇野確雄植物コレクション(10)、自然史博物館だよりNo.42～No.44、倉敷市立自然史博物館研究報告第16号
岡山県立美術館	美術館ニュースNo.52～No.56
岡山県立吉備路郷土館	吉備路郷土館だよりNo.24～No.25、吉備路風土記の丘ガイド
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	岡山大学構内遺跡調査研究年報18 -2000年度-、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第26号
岡山理科大学	津島東遺跡土生地点発掘調査概報、自然科学研究所研究報告第26号、岡山理科大学紀要第36号A 自然科学、岡山理科大学紀要第36号B 人文・社会科学
倉敷市史研究会	新修倉敷市史第12巻「史料　近代(下)・現代」、倉敷の歴史 -倉敷市史紀要-第11号

高梁川の水と緑を守る会	高梁川流域の自然第23号～第24号
【 広島県 34】	
(財)広島県埋蔵文化財調査センター	ひろしまの遺跡第84号～第88号、上安井古墳発掘調査報告書、植谷遺跡・根野見遺跡・植谷古墳発掘調査報告書、道木1・2号遺跡、年報17 -平成12年度-、和田平遺跡発掘調査報告書、柆原第2・3号古墳発掘調査報告書
(財)広島市文化財団	古墳発掘 -安芸国のルーツをさぐる-、成岡A地点遺跡、鯛之岡遺跡、平成12年度事業記録集、歴史の扉第8号
広島県教育委員会	いぶきNo.29～No.30、吉川元春館跡の研究、小倉山城跡 -第1次発掘調査概要-、小倉山城跡発掘調査報告書、中世文書目録
福山市教育委員会	井上北遺跡
庄原市教育委員会	下重行第1号古墳
尾道市教育委員会	尾道遺跡、尾道遺跡 -市街地発掘調査概要-1999
広島県立歴史博物館	江戸時代　芸備の科学と自然、中世民衆生活と文字 -木簡が語る文化史-、潮見浩文庫目録Ⅰ
広島県立歴史民俗資料館	広島県立歴史民俗資料館研究紀要第2集、川に生きる -江の川流域の漁撈用具-、年報第20号 -平成10・11年度-、北の民アイヌの世界、歴風第29号
新市町立歴史民俗資料館	後池第17号古墳、新市町立歴史民俗資料館年報第2号～第5号
広島大学	帝釈峡遺跡群発掘調査室年報ⅩⅣ、広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査年報ⅩⅥ
【 山口県 35】	
山口県埋蔵文化財センター	大崎遺跡(木船地区)、陶けん第14号
下関市立考古博物館	あやらぎNo.5～No.6、下関市立考古博物館年報6 -平成12年度-、研究紀要第5号、弥生時代・日本海地域の交流
【 徳島県 36】	
(財)徳島県埋蔵文化財センター	阿讃山脈東南縁の古墳群、新蔵町１丁目遺跡・企業局総合管理事務所地点Ⅱ、新蔵町３丁目遺跡　徳島保健所地点、徳島県埋蔵文化財センター年報vol.11、南前川町1丁目遺跡
徳島市教育委員会	阿波国府跡発掘調査報告書、阿波国府跡発掘調査報告書、徳島市埋蔵文化財発掘調査概要10～11、平成11年度徳島市文化財だより、平成12年度徳島市文化財だより
徳島文理大学	塩飽諸島
【 香川県 37】	
(財)香川県埋蔵文化財調査センター	いにしえの讃岐第30号～第32号、モノが語る歴史が変わる、汲仏遺跡Ⅱ、空港跡地遺跡Ⅴ、県道関係埋蔵文化財発掘調査概報 -平成12年度-、国道バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 -平成12年度-、財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要Ⅸ、財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成12年度、四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 -平成12年度-、浜ノ町遺跡・高松城跡・西打遺跡
香川県教育委員会	旧練兵場遺跡Ⅲ、香川県中世城館跡詳細分布調査概報 -平成11年度-、香川県中世城館跡詳細分布調査概報 -平成12年度-、香川県埋蔵文化財調査年報 -平成11年度-、埋蔵文化財試掘調査報告ⅩⅢ、木太本村Ⅱ遺跡
高松市教育委員会	鬼無藤井遺跡、松縄下所遺跡、木太中村遺跡
三木町教育委員会	天神山古墳群、白山3遺跡
香川県歴史博物館	香川県歴史博物館ニュースvol.9
高松市歴史資料館	怪童中西太展、高松市の111年、高松市歴史資料館収蔵資料目録 -歴史資料Ⅱ-
【 愛媛県 38】	
(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター	犬除遺跡2次調査、松ノ元遺跡、水戸森遺跡・七反山遺跡・今岡遺跡、旦遺跡・宮之前遺跡・長沢石打遺跡・長沢1・6号墳・二の谷2号墳・鋏又古墳群、鶴が峠古墳群(L

	区)、尼ヶ古城跡・かわらがはな窯跡
(財)松山市生涯学習振興財団	斎院の遺跡Ⅱ、小野地区の遺跡、松山市埋蔵文化財調査年報12-平成11年度-、大渕遺跡-1・2次調査-、東雲神社遺跡、東野中畦遺跡、播磨塚天神山古墳、福音寺地区の遺跡Ⅲ
今治市教育委員会	阿方中屋遺跡Ⅲ、伊予国分寺跡確認調査、近見ハサマ古墳、桜井浜ノ上遺跡、山方桜ノ町遺跡、市内遺跡試掘確認調査報告書X、市内遺跡試掘確認調査報告書XⅠ、市内遺跡試掘確認調査報告書XⅡ、市内遺跡試掘確認調査報告書XⅢ、旦勇龍遺跡・宅間馬場口遺跡
松山市考古館	葬られた伊豫の首長たち、弥生の拠点集落
【 高知県 39】	
(財)高知県文化財団	奥谷南遺跡Ⅱ、間城跡、居徳遺跡群Ⅰ、具同中山遺跡群Ⅱ-1、具同中山遺跡群Ⅱ-2、具同中山遺跡群Ⅱ-2、具同中山遺跡群Ⅲ-1、具同中山遺跡群Ⅳ、具同中山遺跡群V、光永・岡ノ下遺跡、高知県埋蔵文化財センター年報9-1999年度-、神ヶ谷窯跡・サンナミ遺跡、西鴨地遺跡、天神遺跡Ⅰ・林口遺跡Ⅰ、天神遺跡Ⅱ、八田奈呂遺跡Ⅱ、北高田遺跡、北地アリノ木遺跡
高知県教育委員会	埋文こうち第14号
南国市教育委員会	岩村遺跡群Ⅲ、岩村遺跡群Ⅳ
野市町教育委員会	下ノ坪遺跡Ⅲ
土佐山田町教育委員会	加茂ハイタノクボ遺跡
本山町教育委員会	松ノ木遺跡V
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第40号～第42号
【 福岡県 40】	
(財)北九州市教育文化事業団	下石田遺跡、貫・井手ヶ本遺跡3、紀要-第15号-、金丸遺跡3、御座遺跡第16地点、小倉城御普請所跡、上貫遺跡(C)4、長野フンデ遺跡2、長野角屋敷遺跡2、長野小西田遺跡2、米町遺跡2、埋蔵文化財調査室年報17、木屋瀬宿本陣跡・脇本陣跡1、木屋瀬宿本陣跡・脇本陣跡2、木屋瀬宿本陣跡・脇本陣跡3
久留米市埋蔵文化財センター	横道遺跡Ⅱ、格屋敷遺跡、旗原遺跡-第2次調査-、久留米市内遺跡群、久留米市埋蔵文化財調査集報Ⅲ、久留米城下町遺跡-第14次調査-、金丸遺跡Ⅱ-第3次調査-、大谷古墳群、筑後国府跡-第168次調査-、筑後国府跡-第169次調査-、筑後国府跡-第170次調査-、筑後国府跡-第173次調査-、歴史散歩No.12～No.14
福岡県教育委員会	上唐原了清遺跡Ⅲ、仁右衛門畑遺跡Ⅱ、西新町遺跡Ⅲ、船越高原A遺跡Ⅱ、内ヶ磯窯跡1、福岡県埋蔵文化財発掘調査年報-平成10年度-、福岡県埋蔵文化財発掘調査年報-平成11年度-
福岡市教育委員会	井尻B遺跡9、羽根戸南古墳群第3次調査、卯内尺古墳、吉塚7、吉武遺跡群XⅢ、九州大学統合移転用地内文化財発掘調査概報1、原遺跡10、高畑遺跡第17次、鴻臚館跡11、鴻臚館跡12、国史跡元寇防塁(生の松原地区)復元・修理報告書、周船寺遺跡群、松木田遺跡群2、上松寺遺跡2・拾六町平田遺跡3・大林遺跡1、雀居遺跡6、西新町遺跡7、中山遺跡、中南部(6)、那珂27、那珂28、那珂29、入部XⅠ、梅林遺跡第2次調査、博多75、博多76、博多77、博多78、博多79、箱崎10、板付周辺遺跡調査報告書第22集、比恵29、比恵30、樋井川A遺跡、福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告-10-、福岡市埋蔵文化財年報vol.14、片江B遺跡、野方久保遺跡、有田・小田部第36集
大野城市教育委員会	瑞穂・原ノ畑遺跡、大野城市の文化財第33集
春日市教育委員会	古代の器、春日市埋蔵文化財年報6～8、上平田遺跡、須玖盤石遺跡、大荒遺跡・天田遺跡、大坪遺跡、大土居水城跡、大土居水城跡、野藤遺跡
前原市教育委員会	JR肥後線複線化用地内遺跡群、前原市内文化財整備基本計画、前原西町遺跡、有田塞ノ本遺跡
大刀洗町教育委員会	鵜木横道遺跡
岡垣町教育委員会	糠塚遺跡群、手野古墳群、長尾古墳群、南ノ前古墳群、墓ノ尾遺跡第2地点・山下遺

	跡
九州歴史資料館	九州歴史資料館研究論集26、九州歴史資料館年報-平成12年度-、九歴だより No.12～No.14
芦屋町歴史民俗資料館	芦屋町化石探険ハンドブック、芦屋町歴史民俗資料館年報第2号
【 佐賀県 41】	
佐賀市教育委員会	佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書-1997・1998年度-、上岸川遺跡、上揚遺跡2区、石土井遺跡Ⅰ、増田遺跡群Ⅴ、徳永遺跡10区、徳永遺跡12区、野中地区(1区・2区)
唐津市教育委員会	衣干古墳群、外原遺跡、菅牟田荒谷遺跡(2)、千々賀遺跡、唐津市内遺跡確認調査(17)、東山Ⅰ遺跡、半田新田遺跡
鎮西町教育委員会	長宗我部元親陣跡
玄海町教育委員会	山村家文書目録
佐賀県立博物館	佐賀県立博物館・美術館報No.126～No.127、調査研究書[第25集]、年報No.30
【 熊本県 43】	
人吉市教育委員会	ひとよし歴史研究第4号
【 大分県 44】	
佐伯市教育委員会	萩山遺跡群
豊後高田市教育委員会	高宇田条里遺跡・高宇田条里遺跡貝元地区、真中地区遺跡発掘調査報告書、豊後高田地区遺跡群発掘調査概報ⅩⅥ
三光村教育委員会	三光村の遺跡
千歳村教育委員会	鹿道原遺跡
天瀬町教育委員会	塚田の遺跡(写真図版編)
大分県立歴史博物館	おおいた歴博No.8～No.10
【 宮崎県 45】	
日南市教育委員会	楠原坂ノ上遺跡、平成12年度日南市内遺跡発掘調査概報
高岡町教育委員会	三生江遺跡、中原遺跡、的野遺跡
【 鹿児島県 46】	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第23号～28号
田代町教育委員会	ホノケ頭遺跡
【 沖縄県 47】	
沖縄県立埋蔵文化財センター	首里城京の内展-貿易陶磁からみた大交易時代-
【その他】	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第26号～第28号
全国埋蔵文化財法人連絡協議会	全国埋文協会報No.57～No.61
(株)文化環境研究所	カルチベイトNo.16、文環研レポート第18号
(株)京都科学	ミュージアムワークスvol.9～vol.10

平成14(2002)年度

Ⅰ 組 織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。2002年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷埋蔵文化財センター機構図

文化財保護課	課 長	大本 森
埋蔵文化財センター	館長	松浦 憲弘
〃	主 任	鍵谷 守秀（科学センター学芸員兼務）
〃	学芸員	小野 雅明
〃	〃	藤原 好二
〃	〃	中野 倫太郎
〃	〃	片岡 弘至
〃	臨時職員	藤川 明日香
〃	〃	田中 玲子
〃	〃	三宅 絢子

（職名等は2003年3月31日現在）

平成14年度 埋蔵文化財センター協議会

会 長	間壁 忠彦	（学識経験者）
副会長	河本 清	（ 〃 ）
委 員	松本 晟	（小学校校長会代表）
〃	山磨 健一	（中学校校長会代表）
〃	難波 英明	（高等学校校長会代表）
〃	梶田 順子	（PTA連合会代表）
〃	柿並貴久恵	（学識経験者）
〃	早川美也子	（ 〃 ）

Ⅱ 事業の概要

1. 埋蔵文化財センター協議会

(1) 協議会　平成14年７月17日(水)　会場：ライフパーク倉敷「第３会議室」

議　事　1. 平成13年度埋蔵文化財センター関係事業報告について

2. 平成14年度埋蔵文化財センター関係事業計画について

3. その他

2. 調査事業

(1) 発掘調査　今年度は確認調査2件、立会調査14件を実施した。また、開発面積が1,000㎡を越える事業についての事前協議は86件で前年度を大きく上回りほぼ一昨年度並みに回復している。

(2) 分布調査　倉敷地区の235遺跡を踏査し、遺跡の台帳をパソコンに入力した。

3. 普及・啓発事業

(1) 企画展・主催講座

タイトル	開　催　日	回数	延べ人数
春の遺跡見学会⑦	02.5.11	1回	31人
夏休み親子考古学教室	02.8.1	1回	24人
地下の歴史の読み解きかた	02.11.10	1回	21人
古墳築造とその背景	02.11.17・11.24・12.1	3回	125人
むかしむかしのたまかざり	03.2.16	1回	16人
むかしむかしのみみかざり	03.2.23	1回	15人
企画展「おしゃれ むかし むかし」	03.2.4～03.3.16	－	1,164人

(2) 出前講座等講師派遣

派遣内容	依頼団体	開催日	人数
歴史入門講座・旧石器時代	灘崎町教育委員会	02.4.20	29人
歴史入門講座・縄文土器と貝塚	灘崎町教育委員会	02.5.11	30人
考古学講座・寒田窯跡群4号	真備町教育委員会	02.6.8	27人
土器によるご飯炊き	上成小学校	02.6.12	63人
古代の土笛作り	倉敷児童館	02.7.13	26人
古代の土笛作り	上成小学校児童クラブ	02.7.24	29人
古代の土笛作り	児島公民館	02.7.26	30人
古代の土笛作り	落合町立美川小学校	02.8.2	45人
古代の土笛作り	長尾小学校児童クラブ	02.8.9	30人
古代の土笛作り	下津井公民館	02.8.22	48人
古代の土笛作り	赤崎小学校	02.8.23	32人
古代の土笛作り	黒崎公民館	02.9.15	10人
古代の土笛作り	福井子供会	02.11.9	18人
出前講座・倉敷の埋蔵文化財	日本関税協会水島支部	02.11.28	60人
郷土史講座・寒田窯跡群4号	多津美公民館	02.12.19	15人
考古学研究会・寒田窯跡群4号	考古学研究会	03.3.8	70人

(3) 報告書等の刊行

寒田窯跡群４号　－倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告書第10集－
Ａ４版　本文158P　図版24P　700部　2003年３月刊行

(4) 貸出資料

年月日	貸出先	資料名		点数
平成14年 9月11日	岡山県立博物館	矢部遺跡	龍形土製品	1点
			ﾎﾟｼﾞﾌｨﾙﾑ	1点
11月14日	ﾌｧｯｼｮﾝﾀｳﾝ児島推進協議会	金浜遺跡・塩生遺跡	製塩土器片	6点
平成15年 3月1日	ﾌｧｯｼｮﾝﾀｳﾝ児島推進協議会	王子が岳南麓遺跡	石器	9点
		釜島第１遺跡	石器	5点
		香川県産	ｻﾇｶｲﾄ原石	2点
3月7日	講談社	日畑出土古銭	ｶﾗｰﾌﾟﾘﾝﾄ	1点

4. 寄贈資料

年月日	寄贈者名	資料名		点数
平成15年 2月26日	目黒志津子	日畑廃寺	軒丸瓦	6点
			丸瓦	2点
			平瓦	1点

5. 利用者数

展示・講座等を含めた今年度の利用者数は下表のとおりである。開館日数293日に対し入館者数は10,429人で、１日平均35.6人が利用していることになる。総利用者数はやや上向き加減と言える。減少傾向にある入館者数に対し、企画展などの開催によってかろうじて利用者をつなぎ止めた形となった。

【平成14年度利用者集計表】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数		25	24	26	27	24	25	25	24	22	22	23	26	293(日)
入館者数	一般	291	338	424	444	1,182	397	364	313	170	168	466	418	4,975(人)
	児童	424	822	294	367	1,191	414	236	123	98	120	236	335	4,660(人)
講座等		29	61	90	85	179	10		189	50		31	70	794(人)
合計		744	1,221	808	896	2,552	821	600	625	318	288	733	823	10,429(人)

Ⅲ 普及・啓発事業報告

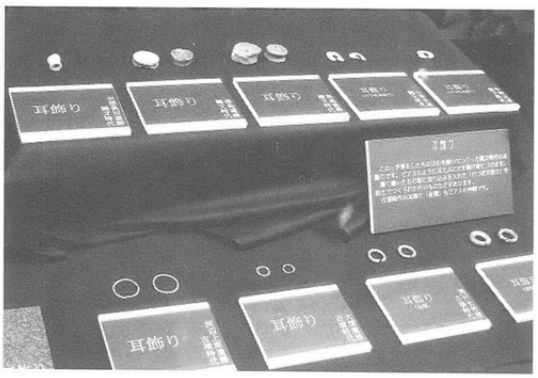
1．企画展「おしゃれ むかしむかし」

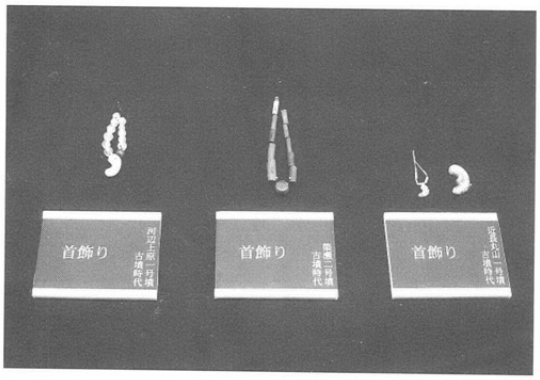
会　　期　平成15年２月４日(火)～３月16日(日)
会　　場　埋蔵文化財センター「展示室」
対　　象　一般
入 場 者　1,164人

数千年前の古代から、人々がその身を飾ってきた装身具は時には権力の象徴として、また時には貴重な交易品として輝いていた。今回の企画展ではその変遷、製作技法等にスポットをあて、装身具の歴史を明らかにしていった。

イレズミをいれた人面を描いた弥生時代の土器は、当時の人々の精神世界を表している。縄文時代は土製の耳飾り、古墳時代は金の耳飾りと時代による変化もうかがえる。一方、実際の装飾品には使えない鶴山丸山古墳出土の巨大管玉は権力の象徴と考えられる。

来館者が、それぞれの遺物から様々なことを自由に読みとれるように、展示解説は必要最小限にとどめた。しかし、これが災いして、内容が今ひとつわかりにくいとの指摘もいただいた。説明過多にならないよう、なおかつ見る人の向学心を刺激するような展示方法とはどういうものかあらためて考えさせられた。





2．企画展関連行事

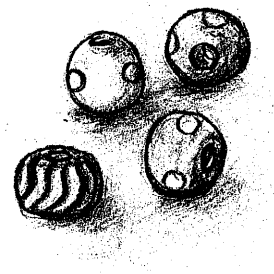
1）講座「むかしむかしのたまかざり」

講　　師　高橋進一(総社市教育委員会)
日　　時　平成15年２月16日(日)
会　　場　埋蔵文化財センター「遺物整理室」
対　　象　一般
入 場 者　16人

総社市教育委員会で発掘調査を行うかたわら、自身もガラス玉作りを行う高橋進一氏に古代の玉に関する

解説をいただいた。玉の製作技法の解説では材料の石を荒割した後に、細かく敲いて整形し、最後に磨いて完成するという工程をわかりやすく解説された。岡山県内にも玉作遺跡があることをこの講座で知った人も多いようだった。旧石器時代から現代までの玉類の変遷を説明された中では、中・近世に装身具としての玉類がほとんど用いられなくなることは意外との感想が受講者の中に聞かれた。また、その理由について納得がいきかねるとの疑問もだされた。

高橋氏が制作を得意とするトンボ玉の解説は特に念入りで、そのルーツをたどって話は国外の例にまで及んだ。最後はそのトンボ玉の制作実演があり、見事に製品が完成したときには、受講者から歓声があがっていた。



2）講座「むかしむかしのみみかざり」

講　　師　松永訓子（岡山県立吉備路郷土館）
日　　時　平成15年2月23日(日)
会　　場　埋蔵文化財センター「遺物整理室」
対　　象　一般
受 講 者　15人

吉備路郷土館の松永訓子氏には縄文時代の耳飾りの製作指導をお願いした。

軟らかく加工しやすい滑石を用いて、縄文時代の「けつ状耳飾り」を製作した。まず、滑石を薄い円盤状に加工し、次に「まいぎり」に似た道具で穴を開け、一方から切れ込みを入れる。最後にサンドペーパーで磨いて、つやを出したら完成である。一見、簡単な作業のように思えるが、滑石は軟らかく加工しやすい反面、ちょっとした衝撃ですぐに割れてしまう。穴開けの道具で石を押さえ過ぎても割れてしまう。慎重に作業しているつもりでも石を割ってしまい、再度挑戦する受講生もいた。手を滑石の粉で真っ白にしながら石を磨いていき、耳飾りを完成した受講生は、その輝きに驚きの声をあげていた。

3. 主催講座

1）春の遺跡見学会⑦

～備前の大王墓をめぐる～

講　　師　藤原好二（倉敷埋蔵文化財センター）
日　　時　平成14年5月11日(土)
対　　象　一般
参 加 者　31人

今回の見学会は初めての企画として、バスを借りて山陽町の遺跡を訪れることとなった。当日は天気もよく、暖かい春の日差しの中での遺跡見学会となった。最初に訪れた山陽町郷土資料館で、地域の歴史の概要を頭に入れ、その後、実際の遺跡をめぐった。両宮山古墳ではその巨大さとともに、周濠が良く残っていることに驚かされ、牟佐大塚古墳の石室では実際に石棺に触れて古代の息吹を感じた。また、見学時の徒歩の距離・高低などが少なく気持ち良い見学ができたと好評であった。

2）夏休み親子考古学教室

日　　時　平成14年8月1日(木)
会　　場　倉敷市少年自然の家
対　　象　小学校高学年と保護者
受 講 者　24人

本講座は今年で10回目を数えるが、参加人数の落ち込んだ去年とはうって変わり、多くの参加者を得て盛況であった。

参加者は、最初に火おこしや土器炊きの簡単な説明を受けた後、各自ご飯とみそ汁作りを行った。初めて使う「まいぎり」で苦心して火をおこす子や、サヌカイトを持って危ない手つきで肉を切る子、どの子も一生懸命であった。完成した料理を食べる時は、皆笑顔で古代の味にひたっていた。

食後の休憩時間には「古代の知恵がわかった」「また参加したい」などの声が聞かれた。

3）考古学入門講座

～地下の歴史の読み解きかた～

講　　師　中野倫太郎(倉敷埋蔵文化財センター)
日　　時　平成13年11月10日(木)
会　　場　埋蔵文化財センター「遺物整理室」
対　　象　一般
受 講 者　21人

「「考古学」ってどんな学問？？」そんな疑問を当センターの学芸員がわかりやすく解説した。

考古学の基本である層位論については、実際に掘ることのできる模型を使って、大昔の柱穴を見つける方法を解説した。自分で土を掘って下から柱穴を検出した受講生は、わかりやすいと感激していた。

また、型式論については、近・現代の自動車変化に例えて説明した。自動車の図を描いたカードを受講生に時代順に並べてもらい、その形の変化で時期を決めることを解説した。その後、弥生時代の銅鐸を描いたカードを受講生に古い順に並べてもらったが、なかなかうまくいかず苦心しているようであった。

4）古墳の築造とその背景－吉備の首長墓を探る－

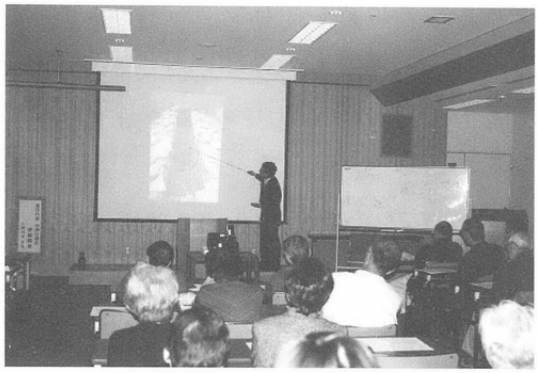
講　　師　第1回 澤田秀実(くらしき作陽大学)
「吉備の前期古墳をめぐって」
第2回 小郷利幸(津山弥生の里文化財センター)
「美作の前・中期古墳の発掘調査」
第3回 安川　満(岡山市教育委員会)
「吉備の埴輪～造山古墳群を中心に」
日　　時　平成14年11月17日・24日・
12月1日(日)
会　　場　ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」
対　　象　一般
受 講 者　125人(延べ人数)

第1回は澤田秀実氏による講演で、墳丘の形態からみた吉備の前期古墳と畿内の大王墓との関係についての話をお聞きした。畿内の大王墓では、桜井茶臼山古

墳に続く系列と箸墓古墳に続く系列の２系列で展開していることを示したうえで、吉備の首長墓の系列を整理し、それぞれがどの古墳と築造規格を共有しているかを表した。講演の後、受講者からの質問が寄せられ、前期古墳が示す複雑な社会構造を理解しようとする熱意が伝わってきた。

第２回は小郷利幸氏による講演で、前・中期古墳の発掘調査についてのお話をお聞きした。橋本塚１号墳の話では墳丘断面の写真が示され、モッコ１杯分の土塊を積んで墳丘を築いていった様子が鮮明に映し出された。また、同古墳から出土した埴輪が大阪府南部に由来する淡輪技法によるものであることが紹介され、畿内の影響が強いとされる十六夜山古墳の存在を含め、県南地域とは違った美作の古墳の様相が示された。

第３回は安川 満氏の講演で、パソコン画像による解説を交えながら吉備の埴輪の話をお聞きした。はじめに、埴輪の起源についての説明があった後、造山古墳群の話題に移った。造山２号墳で検出された埴輪列が、単なる一古墳の付帯施設ではなく、造山古墳群全体の中の施設として位置づけられる可能性が高いとし、今後の研究の進展が期待された。また、造山・作山古墳周辺地域では、埴輪の生産体制が各々の古墳で独立したものでなく、ある程度継続的に生産が行われ、周辺古墳に供給されていたという見解が示された。



４．ライフパークの集い

日　　時　平成14年８月18日(日)
会　　場　埋蔵文化財センター
入 場 者　1,032人

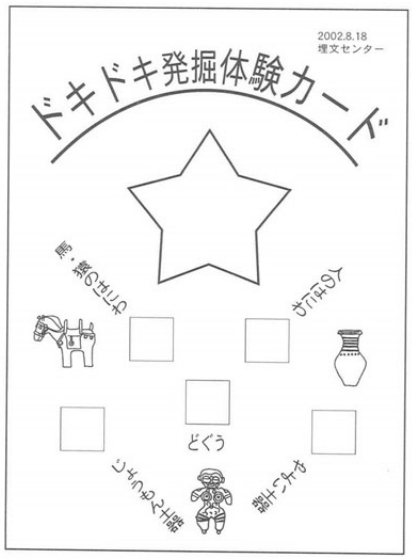
ライフパーク倉敷をより多くの市民の方に知ってもらうために始まった「ライフパークの集い」は、平成14年度で９回目を迎えた。この催しでは、ライフパーク内の５センターがそれぞれ趣向を凝らしたイベント・講座・展示等を行っており、夏休み期間中というこ

ともあって、毎年多くの家族連れが訪れている。

埋蔵文化財センターでは、昨年に引き続き、子どもたちに大人気であった「ドキドキ！発掘体験」を遺物整理室において実施した。このイベントは、大きな砂箱の中にミニチュアの土器や埴輪・土偶などを埋め、それらを竹べらで掘り出してもらうコーナーである。

昨年までは、遺物の種類ごとに簡単な表彰状を作り、掘り出してきた子どもたちに手渡していたが、これでは掘り出す作業に区切りがなく、達成感を感じにくい面があった。そこで、今年度は「ドキドキ発掘体験カード」というものを作り、掘り出したミニチュアの種類ごとに小さなスタンプを押していき、全種類のスタンプがそろったら、中央に「合格」スタンプを押して、一応の終了とした。これにより、発掘体験の作業に区切りがつくとともに、子どもたちは「全種類掘り出すことができた！」という満足感を感じているようだった。

また、昨年度の反省点を踏まえ、より多くの子どもたちにより気軽に楽しんでもらうため、室内外の飾り付けは子ども向けに華やかにし、「ドキドキ発掘体験カード」も首からつるすようにして両手が使えるよう工夫した。



ドキドキ発掘体験カード

Ⅳ 調査事業報告

2002年度調査一覧表

No.	遺　跡　名	調　査　地	調査原因	区別	調査期間	備　考
1	鼻高山城跡	串田字城之原617-1	鉄塔立替工事	立会	02.4.9	遺物・遺構無し
2	上東遺跡	上東字才ノ元542-1外	宅地造成	確認	6.11～6.12	弥生土器・中世土器
3	上東遺跡	上東字才ノ元542-1外	宅地造成	立会	6.28	遺物・遺構なし
4	正保堤	玉島勇崎728-1外	道路改良工事	立会	7.31	〃
5	日畑廃寺	日畑字赤井576-7外	宅地造成	確認	9.10～9.13	瓦類・中世土器
6	下津井城跡	下津井	照明灯設置工事	立会	9.18	遺物・遺構なし
7	日畑廃寺	日畑字赤井576-7外	宅地造成	立会	9.27	瓦類
8	磯の森貝塚	粒江地内	水道管埋設工事	立会	11.20	縄文土器・獣骨
9	寒田窯跡群4号	玉島陶地内	老人ホーム増築	立会	11.29	須恵器片
10	古下津井遺跡	下津井2丁目地内外	下水管埋設工事	立会	12.25	遺物・遺構なし
11	下津井城跡	下津井1103-1・1103-5	防護柵取替工事	立会	03.1.7・1.17	丸瓦
12	塩生遺跡	塩生地内	水道管改良工事	立会	1.12	遺物・遺構なし
13	岩倉遺跡	上東102-1番地先	水路改良工事	立会	1.23	〃
14	曽原遺跡	曽原地内	水道管埋設工事	立会	1.30	〃
15	大坪遺跡	串田地内	道路改良工事	立会	2.4	土師質土器片
16	上東遺跡	上東字312番地外	水路改修工事	立会	2.6	遺物・遺構無し
17	天城堤跡	藤戸町天城地内	道路改良工事	立会	2.10	〃
18	才楽遺跡	日畑地内	道路改良工事	立会	2.21	〃

調査地位置図(S＝1/100,000)

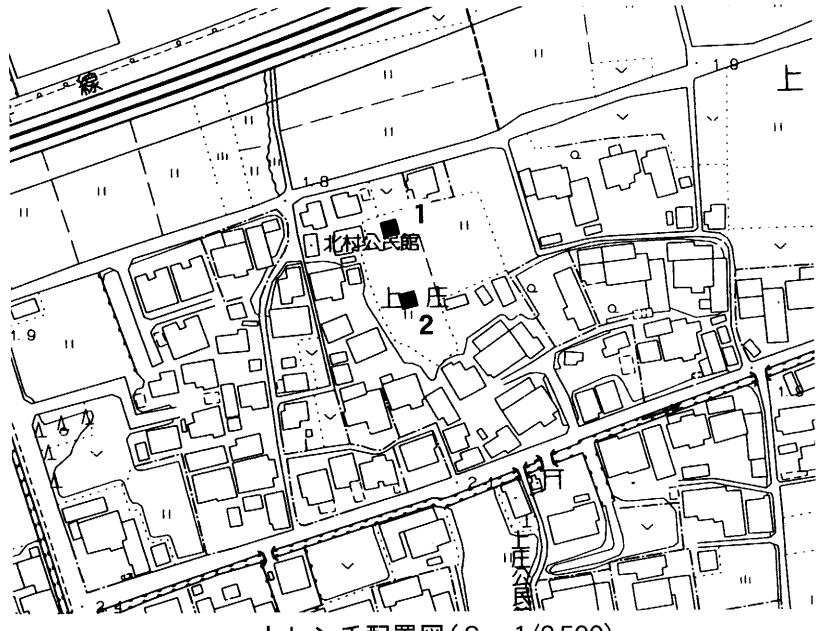
上東(じょうとう)遺跡確認調査報告

調 査 地　上東字才ノ元542-1外
調査原因　宅地造成工事　　調査面積　9㎡
調査期間　020611～020612　　調査担当者　鍵谷・小野・藤原

遺跡の概要　上東遺跡は、足守川の沖積地に立地する弥生時代後期を中心とした集落遺跡である。これまでに山陽新幹線建設工事に伴う調査(1972～1973)、都市計画道路建設工事に伴う調査(1975～1976)、主要地方道箕島高松線改良工事に伴う調査(1997～1999)が実施され、市内でも豊富な内容をもつ遺跡であることが確認されている。今回の調査地はこれらの調査によって設定された「才ノ元」調査区のすぐ南側にあたる。この「才ノ元」調査区における遺構密度は、他地区と比較してそれほど高くなく、井戸・土壙・溝などが確認されているだけである。しかし、今回の調査地方向に延びる微高地が確認されており、その広がりを確認する必要が認められる。

調査の概要　調査は南北に細長い造成計画範囲内に、2カ所のトレンチを設定して行った。北側をトレンチ1(2×2.5m)、南側のものをトレンチ2(2×2m)とした。土層は両トレンチともほぼ同様であった。厚さ20cm程度のオリーブ黒色の耕作土の下には、鉄分を含む浅黄色の床土が10cm厚で堆積していた。遺物が確認できるのは、この2層だけである。弥生土器及び中世土器片がわずかに含まれている。どちらかというと中世土器が目立つようであるが、細片ばかりで時期を確定できるものはない。床土の下には、15cm程度の厚さで灰色砂質土が堆積していた。色調的には遺物包含層でも良いような土であるが、少なくとも今回のトレンチ内では遺物を確認できなかった。岡山県教育委員会による前述の調査では「才ノ元」微高地を「灰褐色粘質細砂を基調とする」としており、この層が微高地の基盤層となる可能性もある。さらに下には無遺物層である灰白色粘質土があり、その下には灰色シルト層が堆積している。いずれの層からも遺構は全く確認されなかった。

今回の調査地付近は現「才ノ元」集落を中心とすると考えられる微高地想定範囲内に位置することから、遺物・遺構の検出が予想されたが、期待に反して遺構は全く検出されず、遺物もわずかなものであった。しかし、水田床土直下(深さ30cm程)から微高地の基盤層とも考えられる層が確認された。このことから本来は現在よりも高い位置に生活面が存在し、後世に遺構を含めて削平された可能性も考えられる。　(藤原)



トレンチ配置図(S＝1/2,500)

日畑(ひばた)廃寺確認調査報告

調　査　地　日畑字赤井576-7外
調査原因　宅地造成工事　　調査面積　22㎡
調査期間　020910～020913　　調査担当者　鍵谷・小野

遺跡の概要　日畑廃寺は、倉敷市の北東端、王墓山丘陵の東裾に立地する白鳳時代創建の寺院跡である。東に開く谷状地形の緩斜面に一町四方ほどの寺域が想定され、伽藍配置は不明ながら、谷奥に露出する礎石列が示す建物跡、周囲から出土する古瓦などが古くから注目されている。玉井伊三郎著「吉備古瓦図譜第二輯」によると、この建物跡を講堂とし、南北73尺5寸、東西40尺の規模で「七間×四間」の礎石配列を示すことが発掘によって明らかになったとされる。

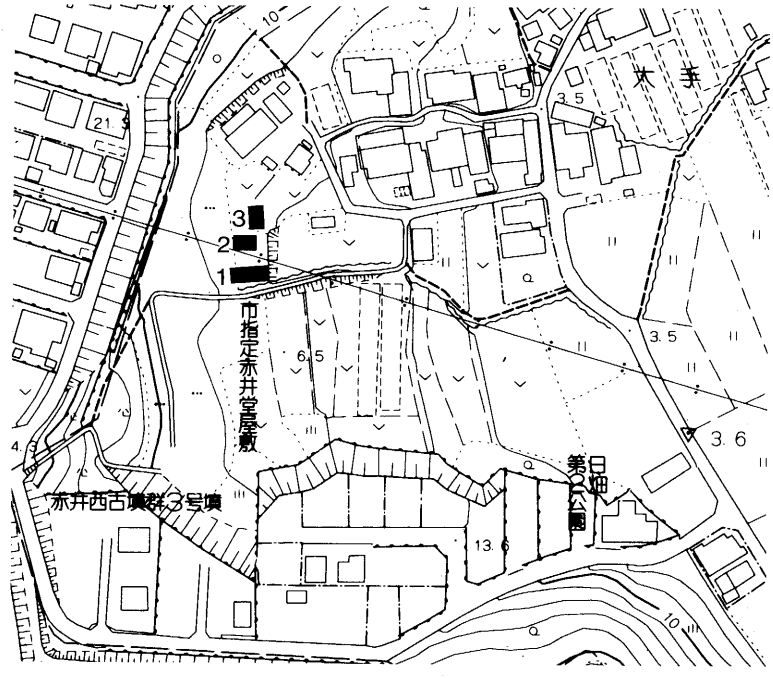
1988年から1989年にかけて倉敷市教育委員会が実施した市道建設に伴う確認調査では、同建物の北側において地下約1.0mで瓦溜まりが検出され、その下から三つの礎石が確認されている。また、基壇と思われる石組みも検出されるなど深部に遺構が埋没していることが明らかになった。

調査の概要　調査地は、先述の建物跡より市道をはさんで北側に位置する。標高6.8m程度の平坦な畑地である。調査は工事計画区域にトレンチを3カ所設定して行った。

トレンチ1は、工事計画区域の南端付近に設定した5m×2mのものである。1層～3層はぶどう栽培に伴う造成土層。4層は緑灰色砂質土、5層は明緑灰色粘質土で、6層はオリーブ黄色砂質土の基盤層である。当該地の旧地目はため池となっており、2層以下はグライ化が著しい。基盤層の上面には多少の窪みが認められるものの、明瞭な遺構は検出されなかった。遺物は1層～4層より白鳳瓦を中心に少量出土している。周辺からの流れ込みによるものと思われる。

トレンチ2は、トレンチ1の北約12mに設定した3m×2mのものである。1層は耕作土、2層は現代の整地層。3層～9層は砂質土あるいは細砂の堆積層で、白鳳瓦、中世土器、須恵器、弥生土器が出土した。9層を除去すると溝1が検出された。検出面での幅約1.2m、深さ20cmを測り、ほぼ東西方向に直線的に延びている。溝内堆積の10層は風化の進んだ花崗岩礫を含む灰色微砂層で、この層から白鳳瓦や亀山焼、土師質椀(早島式土器)、土師質土鍋・皿、などの中世の遺物が出土した。出土遺物から溝1は中世に埋没したとみられる。

トレンチ3は、工事計画区域の北



調査地位置図(S＝1/2,500)

端付近に設定した3m×2mのものである。1層はぶどう栽培に伴う造成土層。2層はブロック状の褐灰色土の堆積で、少量の弥生土器が含まれるが、後世に攪乱を受けたものであろう。3層からは白鳳瓦が、4層からは弥生土器、サヌカイト片、須恵器が少量出土した。トレンチ3では東壁北端で溝状遺構の肩を確認した。9層、10層の基盤層を掘り込んでおり、検出された底までの深さは80cmを測る。出土遺物は少なく、7層から白鳳瓦、8層から須恵器がそれぞれ1点出土している。

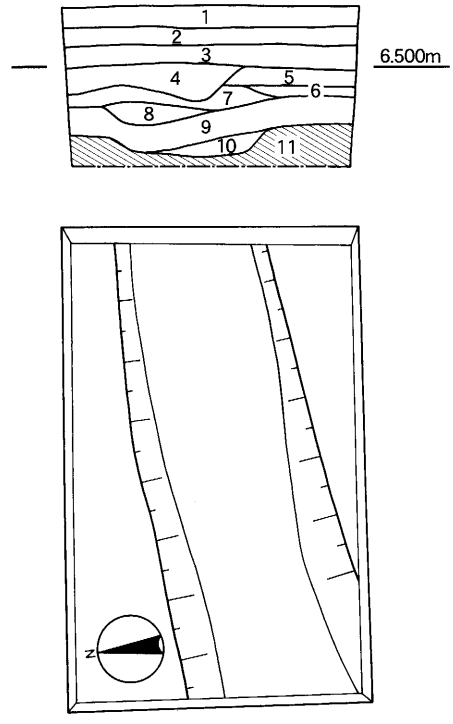
今回の調査結果を先の市道建設に伴う確認調査の結果(以下市道調査と記す)を参考にしながら整理してみたい。

(1)遺構について

トレンチ2で東西に延びる溝1を検出、トレンチ3土層断面で溝状の落ちを確認した。溝1は谷地形の排水処理を目的としたもので、中世において機能したと考えられる。市道調査でも古代の遺構が中世の溝などによって切られている状況が確認されており、寺域内が中世の段階で広く改変を受けたことが再確認された。トレンチ3の溝状の落ちの詳細は不明であるが、溝1に比べて深く掘り下げられており、出土遺物等から古代の遺構である可能性がある。なお、これら遺構検出面の標高は前述した建物跡の礎石上面より約1m低い。

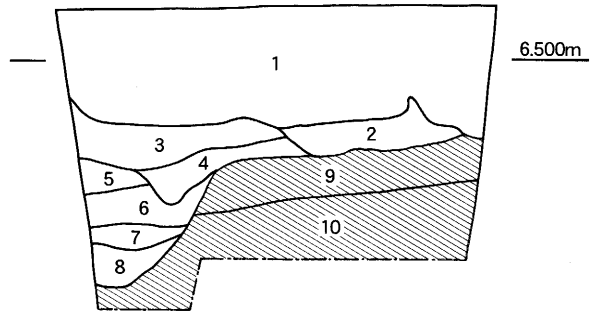
(2)遺物の出土状況について

今回の調査で最も多く出土したのが白鳳時代の瓦片である。溝1や堆積土層中に含まれていたが、周辺から流れ込んだものであろう。また、須恵器も少量出土したが、断片のため詳細は不明である。中世の遺物は、溝1を中心に局地的に出土した。また、各トレンチから少量ながら弥生土器も出土しているが、弥生遺跡の大半は後世の破壊を受けていると思われる。(小野)



1．灰色土(耕作土)
2．灰黄色土(整地層)
3．黄灰色砂質土
4．浅黄色細砂
5．オリーブ灰色砂質土
6．灰オリーブ色細砂
7．灰色細砂
8．灰オリーブ色細砂
9．黄灰色砂質土
10．灰色微砂
11．緑灰色粘質土(基盤層)

トレンチ2東壁断面図・溝1平面図(S=1/50)



1．暗灰黄色土(耕作土)
2．褐灰色ブロック土
3．にぶい黄褐色土
4．黄灰色砂質土
5．灰黄色砂質土
6．灰色砂質土
7．灰色砂質土
8．灰色砂質土
9．黄灰色砂質土(基盤層)
10．オリーブ灰色砂質土(〃)

トレンチ3東壁断面図(S=1/50)

Ⅴ 寄贈図書一覧 (2002.4.1～2003.3.31)

【北海道　01】	
(財)北海道埋蔵文化財センター	ケネフチ9遺跡、チプニー1遺跡・チプニー2遺跡、テエタ第8号～第9号、ユカンボシC15遺跡(5)、栄浜1遺跡、宮戸4遺跡、虎杖浜2遺跡(2)、山越3遺跡・山越4遺跡、山崎5遺跡、西島松5遺跡、西島松9遺跡、対雁2遺跡(3)、調査年報14～15、白滝遺跡群Ⅲ、穂香竪穴群、北海道立埋蔵文化財センター年報3、本内川右岸遺跡、本内川右岸遺跡、本内川右岸遺跡、野田生2遺跡、野田生4遺跡、落部1遺跡
釧路市埋蔵文化財調査センター	大楽毛1遺跡調査報告書Ⅱ
千歳市埋蔵文化財センター	ユカンボシC2遺跡・オサツ2遺跡における考古学的調査、梅川4遺跡における考古学的調査
鵡川町教育委員会	米原5遺跡
(財)アイヌ文化振興・研究推進機構	海を渡ったアイヌの工芸
【青森県　02】	
青森県埋蔵文化財調査センター	ネットワーク発掘第13号～第15号
田舎館村埋蔵文化財センター	高樋(3)遺跡発掘調査報告
森田村教育委員会	八重菊(1)遺跡Ⅱ
【岩手県　03】	
(財)岩手県文化振興事業団	河崎の柵擬定地発掘調査報告書、紀要ＸＸⅠ、金館跡発掘調査報告書、熊堂Ｂ遺跡第10次発掘調査報告書、権現前遺跡発掘調査報告書、古館遺跡発掘調査報告書、山根館跡発掘調査報告書、漆林Ⅱ遺跡・本宿迎畑遺跡発掘調査報告書、小松Ⅱ遺跡発掘調査報告書、上似内遺跡発掘調査報告書、上水沢Ⅱ遺跡発掘調査報告書、上村遺跡発掘調査報告書、諏訪前遺跡発掘調査報告書、清水遺跡発掘調査報告書、船丸館跡発掘調査報告書、大向Ⅱ遺跡発掘調査報告書、大清水遺跡発掘調査報告書、中半入遺跡・蝦夷塚古墳発掘調査報告書、長興寺Ⅰ遺跡発掘調査報告書、飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書、米沢遺跡発掘調査報告書、北田Ⅱ遺跡発掘調査報告書、野尻Ⅲ遺跡発掘調査報告書、矢崎Ⅰ遺跡第1次発掘調査報告書、要害館跡発掘調査報告書、里遺跡発掘調査報告書
北上市立埋蔵文化財センター	向遺跡、国見山廃寺跡、黒岩宿遺跡、黒岩城跡、森下遺跡(2001年度)、塚遺跡、鳩岡崎上の台遺跡、蛭川遺跡、北上市埋蔵文化財年報(1999年度)～(2000年度)、立花南遺跡
【宮城県　04】	
多賀城市埋蔵文化財調査センター	高崎遺跡、市川橋遺跡、西沢遺跡ほか、多賀城市埋蔵文化財調査センター年報-平成13年度-
古川市教育委員会	名生館官衙遺跡ＸＸ、名生館官衙遺跡ＸＸⅡ・灰塚遺跡
仙台市富沢遺跡保存館	2万～1万年前の道具、市民文化財研究員活動報告書6、仙台市富沢遺跡保存館研究報告5、地底の森ミュージアム年報-第6号-
【山形県　06】	
米沢市教育委員会	遺跡詳細分布調査報告書第15集、舘山北館、上浅川Ｃ遺跡、米沢市文化財年報No.14、米沢城三の丸跡発掘調査報告書
【福島県　07】	
(財)郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団	阿久津館跡、宮ノ脇遺跡-第5次発掘調査報告-、郡山の古墳時代、郡山市埋蔵文化財分布調査報告9、荒井猫田遺跡、清水台遺跡-第2次調査報告-、清水内遺跡(第5次)、白旗遺跡・転沢遺跡、築場遺跡・皆屋敷遺跡・町Ａ遺跡
(財)いわき市教育文化事業団	横山古墳群、夏井廃寺、栗木作遺跡、栗木作遺跡、桜町遺跡、小茶円遺跡、上ノ台遺跡、上田郷Ⅵ遺跡、中山館跡Ⅰ区、堂ノ原遺跡、日陰遺跡、連郷遺跡
(財)福島市振興公社	羽根通Ａ遺跡、鎧塚遺跡2、割石遺跡(試掘調査)、月崎Ａ遺跡(第6・16・18～26次

	調査)、戸上向遺跡・八方塚B遺跡、五十辺遺跡2・五十目館跡、腰浜遺跡、勝口前畑遺跡10、勝口前畑遺跡11、小峰遺跡、上条古墳群・富塚前遺跡・五十目館跡・大鳥城跡・愛宕館跡、摺上川ダム埋蔵文化財発掘調査概要Ⅸ、摺上川ダム埋蔵文化財発掘調査概要Ⅹ、増田条里制遺構、台畑遺跡3、大枝館跡・入トンキャラ遺跡、地蔵原遺跡、地蔵原遺跡2、椿舘跡、二ツ石遺跡、二ツ石遺跡2、反町B遺跡、番匠内遺跡2・観音山古墳群、平成11年度遺跡詳細分布調査報告(試掘調査)、平成12年度遺跡詳細分布調査報告(試掘調査)、平成13年度遺跡詳細分布調査報告(試掘調査)、平成13年度市内遺跡試掘調査報告、名倉向A遺跡、名倉城跡・北橋遺跡
会津若松市教育委員会	笹山原遺跡群発掘調査報告書4
【茨城県　08】	
(財)茨城県教育財団	研究ノート11号、年報21
ひたちなか市埋蔵文化財調査センター	ひたちなか埋文だより第14号～第16号、東中根遺跡群発掘調査報告書、平成13年度市内遺跡発掘調査報告書
(財)ひたちなか市文化・スポーツ振興公社	フィールドノートvol.14、もっと見てみよう聞いてみよう！　船窪編、見てみよう聞いてみよう！　その9、向野Ⅳ、船窪Ⅴ、武田石高遺跡 -奈良・平安時代編(第1分冊)-
(財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団	御園生遺跡発掘調査報告書Ⅰ、国神古墳発掘調査報告書、鹿島湖岸北部条里遺跡Ⅷ、鹿島城址Ⅴ、鹿島神宮駅北部埋蔵文化財調査報告Ⅴ、鹿島神宮駅北部埋蔵文化財調査報告Ⅷ、鹿島神宮駅北部埋蔵文化財調査報告ⅩⅧ、鹿島神宮駅北部埋蔵文化財調査報告ⅩⅡ、鹿島神宮駅北部埋蔵文化財調査報告ⅩⅤ、春内遺跡、厨台No.3遺跡発掘調査報告書、西谷A遺跡、大塚古墳周辺地区発掘調査報告書、大塚古墳周辺地区発掘調査報告書、藤原鎌足とその時代、片岡遺跡発掘調査報告書Ⅱ、片岡遺跡発掘調査報告書Ⅲ、六十六部塚
土浦市教育委員会	永国遺跡(第2次調査)、史跡　土浦城跡、常名台遺跡群確認調査・神明遺跡(第3次調査)、二又遺跡、木田余台Ⅱ
土浦市立博物館	土浦市立博物館紀要第12号
上高津貝塚ふるさと歴史の広場	“おかね”はじめて物語、きらめく土器と縄文集落
【栃木県　09】	
(財)とちぎ生涯学習文化財団	エグロ遺跡、やまかいどうNo.30～No.32、井頭遺跡、研究紀要　第10号、御霊前遺跡Ⅱ、黒袴台遺跡、寺野東遺跡Ⅲ、松山遺跡、大塚古墳群内遺跡・塚原遺跡、大野遺跡・大用地B遺跡、長田浅間塚、鶴田A遺跡Ⅰ、東谷・中島地区遺跡群2、栃木県埋蔵文化財保護行政年報24、八剣遺跡、板倉中妻居館跡、北の前遺跡(中・近世編)、埋蔵文化財センター年報第12号(平成14年度)
小山市教育委員会	小山の文化財第14号、小山市文化財保護調査年報7、西山遺跡Ⅳ
佐野市教育委員会	ゴロノミヤ遺跡、ムジナ塚遺跡、屋敷東Ⅱ遺跡・屋敷東遺跡、佐野城跡(春日岡城)Ⅱ
足利市教育委員会	宿居館跡発掘調査報告書、智光寺跡第2次発掘調査報告書、平成12年度文化財保護年報
【群馬県　10】	
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	ぬで島川端遺跡・公田東遺跡・公田池尻遺跡、遺跡に学ぶ第18号～第20号、横手南川端遺跡・横手湯田遺跡、研究紀要20、元総社西川遺跡、荒砥諏訪西遺跡Ⅰ、寺尾下町遺跡、小八木志志貝戸遺跡4、上佐野樋越遺跡、上滝榎町北遺跡・上滝Ⅱ遺跡、上福島尾柄町遺跡、西善尺司遺跡、石関西田Ⅱ遺跡、前橋城北曲輪遺跡、中内村前遺跡(1)、長野原一本松遺跡(1)、鶴光路榎橋遺跡、田部井大根谷戸遺跡、二之宮洗橋遺跡、波志江中屋敷東遺跡、波志江中野面遺跡(2)、馬場東矢次Ⅱ遺跡・新川鏑木遺跡・井出二子山古墳・保渡田八幡塚古墳、白井大宮Ⅱ遺跡、八ツ場ダム発掘調査集成(1)、平成12年度地域教材開発研究・研修報告書、埋文群馬No.38、綿貫観音山古墳Ⅱ -石室・遺物編-、弥生時代の土器と墓 -展示レポート5-
高崎市教育委員会	新編高崎市史資料編3　原始古代1

境町教育委員会	下渕名・高田遺跡
群馬県立歴史博物館	群馬県立歴史博物館紀要第23号
【埼玉県　11】	
(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団	稲荷前遺跡Ｂ区Ⅱ、熊野遺跡(Ａ・Ｃ・Ｄ区)、研究紀要第17号、向原遺跡Ⅱ、成願遺跡、川越城／小在家Ⅱ、大寄遺跡Ⅱ、如意Ⅲ／川端、年報22、八木崎遺跡、北島遺跡Ⅴ、堀東遺跡
埼玉県立埋蔵文化財センター	埼玉県立埋蔵文化財センター年報11～年報12、埋文さいたま第38号～第41号
所沢市立埋蔵文化財調査センター	海谷遺跡 -第10次調査・遺物編-、山口城跡 -第8次調査-、市内遺跡調査報告8、所沢市立埋蔵文化財調査センター年報No.7、東の上遺跡 -第80次調査-
飯能市教育委員会	新堀遺跡第1～8次調査、飯能の遺跡(30)
鶴ヶ島市教育委員会	若葉台遺跡発掘調査報告書、小萱野遺跡・高倉館発掘調査報告書、北権現遺跡発掘調査報告書
春日部市教育委員会	浜川戸遺跡17・19・20次、浜川戸遺跡5・6・7・24・25・26次
吉見町教育委員会	西吉見古代道路跡
富士見市立水子貝塚資料館	富士見の発掘三十年、富士見市立資料館要覧
【千葉県　12】	
(財)印旛郡市文化財センター	フィールドブックvol.10～vol.12、下方内野南遺跡、宮本宮後遺跡Ｂ地区(第2次)、駒形北遺跡(第2地点)、向新田遺跡第2地点、財団法人印旛郡市文化財センター年報17、城山ノ作遺跡、川栗遺跡群Ⅲ、第6回遺跡発表会発表要旨、追作遺跡発掘調査報告書、南三里塚五十石込遺跡、馬場遺跡(第2地点)、尾上柳作遺跡(第2次地点)、柳沢牧文違野松里野馬土手
(財)君津郡市文化財センター	20年のあゆみ、きみさらず第19号～第20号、君津郡市文化財センター研究紀要Ⅸ、君津郡市文化財センター年報No.19、犬ヶ久保遺跡、根形台遺跡群Ⅱ、坂畑南遺跡、秋元城跡Ⅰ、蔵波砦跡、中尾遺跡群Ⅱ
(財)山武郡市文化財センター	駒形台遺跡、小野山田遺跡群Ⅱ
(財)市原市文化財センター	市原市釜神遺跡、市原市喜多仲台遺跡、市原市向原台遺跡・東向原遺跡、市原市小鳥向遺跡Ⅱ、市原市新井花和田遺跡、市原市南祇園原遺跡・持塚５号墳・上神台塚群、市原市畑木小谷遺跡Ⅱ、市原市文化財センター年報 -平成11年度-、第16回市原市文化財センター遺跡発表会要旨、第17回市原市文化財センター遺跡発表会要旨
(財)香取郡市文化財センター	加止里第7号、吉原遺跡、高部宮ノ前Ⅱ遺跡・青山甚太山遺跡Ⅱ地区、事業報告ＸⅠ-平成12年度-、主要地方道成田小見川鹿島港線、織幡ササノ倉遺跡Ⅱ(遺物編)、神崎カントリークラブ埋蔵文化財調査報告書Ⅰ、多古台遺跡群Ⅱ、竜谷城跡Ⅱ
(財)千葉県文化財センター	(国)296号国道道路改築事業埋蔵文化財調査報告書、研究連絡誌第62号～第63号、市原市稲荷神社三山塚、主要地方道松戸野田線埋蔵文化財調査報告書、主要地方道成田松尾線ＸⅢ、主要地方道成田松尾線ＸⅣ、主要地方道成田松尾線ＸⅤ、主要地方道多古笹本線埋蔵文化財調査報告書2、新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ＸⅦ、成田市十余三四本木Ⅱ遺跡、成東町境川Ａ遺跡、千葉ニュータウン埋蔵文化財調査報告書ＸⅤ、千葉県文化財センター年報No.27、千葉市鷲谷津遺跡、千葉東金道路(二期)埋蔵文化財調査報告書10、千葉東金道路(二期)埋蔵文化財調査報告書11、千葉東金道路(二期)埋蔵文化財調査報告書9、千葉東南部ニュータウン24～25、袖ヶ浦市堂庭山Ｂ遺跡、多古町千田台遺跡、大網白里町宮谷横穴群、東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財調査報告書10、東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財調査報告書11、柏市光ヶ丘遺跡、富里日吉倉宿舎(仮称)新築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書、房総の文化財vol.28～vol.29、茂原市川代遺跡
市川市教育委員会	国府台遺跡 -第29地点発掘調査報告書-
船橋市教育委員会	夏見大塚遺跡 -第9次発掘調査報告書-
野田市教育委員会	下三ヶ尾初咲、下畔ヶ谷遺跡、倉之橋Ⅳ、堤台松山、平成12年度野田市内遺跡発掘

	調査報告、平成13年度野田市内遺跡発掘調査報告
市原市教育委員会	鶴窪古墳、平成13年度市原市内発掘調査報告、平成14年度市原市内発掘調査報告、坊作遺跡
芝山町教育委員会	平成13年度芝山町内遺跡発掘調査報告書
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究年報10、国立歴史民俗博物館研究報告第93集～第97集、落合計策縄文時代遺物コレクション
千葉市立加曽利貝塚博物館	加曽利貝塚人骨の総合調査、貝塚博物館紀要第29号
市立市川考古博物館	市川市出土の埴輪、市立市川考古博物館館報第29号、市立市川考古博物館年報第27号～第28号
【東京都　13】	
(財)東京都生涯学習文化財団	お茶の水貝塚、たまのよこやまNo.55～No.57、ふる里からきた土器たち -遠くのむらとの交流-、市谷本村町遺跡 -市ヶ谷北地区-、西台後藤田遺跡、多摩ニュータウン遺跡、多摩ニュータウン遺跡 -No.200遺跡(第2・3次調査)- Ⅰ、多摩ニュータウン遺跡 -No.200遺跡(第2・3次調査)- Ⅱ本文編(1)、多摩ニュータウン遺跡 -No.200遺跡(第2・3次調査)- Ⅱ本文編(2)、多摩ニュータウン遺跡 -No.939遺跡 Ⅲ(1)-、島屋敷遺跡 -第3次-、島屋敷物語、東京都埋蔵文化財センター研究論集ⅩⅨ、東京都埋蔵文化財センター年報21～22、内藤町遺跡、尾張藩上屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅸ、尾張藩上屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅹ、尾張藩上屋敷跡遺跡発掘調査報告書ⅩⅠ、富士見池北遺跡、武蔵国分寺跡関連遺跡、弁天町遺跡、方南峰遺跡Ｃ地点
宮内庁書陵部陵墓課	書陵部紀要第53号
北区教育委員会	七社神社裏貝塚・西ヶ原貝塚Ⅲ・中里貝塚Ⅱ、田端不動坂遺跡Ⅴ
調布市郷土博物館	郷土博物館だよりNo.62～No.63、村のくらしと講、調布の文化財第32号、調布市下石原遺跡、飛田給遺跡・飛田給北遺跡
港区立港郷土資料館	港郷土資料館館報 -20-、港区文化財調査集録第6集、資料館だより第48号～第50号、第1台場遺跡発掘調査報告書、長門府中藩毛利家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅰ、平成13年度港区指定文化財
日野新町一丁目住宅遺跡調査会	姥久保遺跡Ⅲ、姥久保遺跡Ⅳ
明治大学博物館	明治大学博物館図書目録第5号、明治大学博物館年報2001年度
東京都立大学	真人原遺跡Ⅲ、人類誌情報2001
青山学院大学	青山史学第二十号
早稲田大学	埴輪を造る　-実験考古学の挑戦-
日野市遺跡調査会	日野駅北駐輪場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
【神奈川県　14】	
横須賀市教育委員会	猿島遺跡群、打木原遺跡、埋蔵文化財発掘調査概報集Ⅹ
平塚市教育委員会	厚木道遺跡、万田遺跡・構之内遺跡
藤沢市教育委員会	藤沢市文化財調査報告書第37集
【富山県　16】	
(財)富山県文化振興財団	清水島Ⅱ遺跡・中名Ⅱ遺跡・持田Ⅰ遺跡発掘調査報告書、石名田木舟遺跡発掘調査報告書、中山中遺跡発掘調査レポート、能越自動車道関連埋蔵文化財包蔵地試掘調査報告、富山考古学研究第5号、埋蔵文化財調査概要 -平成13年度-、埋蔵文化財年報(13) -平成13年度-
富山県埋蔵文化財センター	生と死の祈り、富山県埋蔵文化財センター年報 -平成12年度-、埋文とやま第80号～第81号
魚津市教育委員会	松倉城塁群発掘調査報告Ⅰ
大島町教育委員会	北高木遺跡発掘調査報告書
入善町教育委員会	入善浄化センター用地内じょうべのま東遺跡発掘調査報告

【石川県　17】	
金沢市埋蔵文化財センター	近岡遺跡Ⅱ、市内遺跡発掘調査報告書Ⅱ、松村高見遺跡・松村Ａ遺跡、神谷内Ａ遺跡、千田遺跡、大友西遺跡Ⅰ(航空測量図編)、大友西遺跡Ⅱ(本文編)、彦三町遺跡、平成13年度金沢市埋蔵文化財調査年報
能都町教育委員会	真脇遺跡2002
金沢大学	金沢大学考古学紀要第26号
【福井県　18】	
小浜市教育委員会	若狭小浜城跡
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	一乗谷朝倉氏遺跡30～32、一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要1998～2000
【山梨県　19】	
山梨県埋蔵文化財センター	横町遺跡、下西畑遺跡・西畑遺跡・影井遺跡・保坂家屋敷墓、久保田・道々芽木遺跡、金山金山遺跡、桂野遺跡・原山遺跡、研究紀要18、五反田遺跡、上の原下割遺跡、仲田遺跡、銚子塚古墳附丸山塚古墳、年報17、百々遺跡1、埋文やまなし第9号・第12号～第13号、民間信仰遺跡分布調査報告書 -近世の経塚-
明野村教育委員会	深山田遺跡、大日川原遺跡、梅ノ木遺跡Ⅰ
山梨県立考古博物館	山梨県立考古博物館だよりNo.52
釈迦堂遺跡博物館	釈迦堂ニュース8、釈迦堂遺跡博物館年報第2号
【長野県　20】	
(財)長野県埋蔵文化財センター	長野県埋蔵文化財センター紀要9、長野県埋蔵文化財センター年報17～18
松本市立考古博物館	伊勢町第23・24・25次、岡の宮遺跡Ⅰ、川西開田遺跡Ⅴ・三間沢川左岸遺跡Ⅲ、百瀬遺跡Ⅳ、平田北遺跡Ⅴ
茅野市尖石縄文考古館	茅野市尖石縄文考古館リニューアルの記録
長野県立歴史館	長野県立歴史館たよりvol.31夏号～vol.33冬号
【岐阜県　21】	
(財)岐阜県文化財保護センター	10年のあゆみ -創立10周年記念-、きずな第34号～第36号、岩井戸岩陰遺跡、金ヶ崎遺跡・青木横穴墓、後平茶臼古墳・後平遺跡、上ヶ平遺跡Ⅱ、深橋前遺跡、太江遺跡・寿楽寺廃寺跡、藤田坂遺跡、徳山陣屋跡、南青柳遺跡・南青柳古墳・大平前遺跡、平成13年度年報、保別戸古墳群、野笹遺跡Ⅱ・赤池4号古墳
各務原市埋蔵文化財調査センター	かかみがはらの埋文第10号、各務車洞遺跡、各務車洞遺跡発掘調査報告書、各務東山遺跡、各務東山遺跡発掘調査報告書
(財)土岐市埋蔵文化財センター	元屋敷陶器窯跡発掘調査報告書、妻木城、織部の流通圏を探る
美濃市教育委員会	垣内遺跡、山ノ神遺跡、寺屋敷遺跡、神輿休遺跡、段遺跡Ｃ地区、段遺跡Ⅱ、林光庵遺跡
【静岡県　22】	
(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所	研究紀要第9号、研究所報No.97～No.102、恒武西宮遺跡Ⅱ・笠井若林遺跡、勝田井ノ口遺跡、西の谷遺跡発掘調査概報、静岡県埋蔵文化財調査研究所年報18、大平遺跡Ⅱ、中原遺跡・宮裏遺跡、藤守遺跡、平成14年度静岡の原像をさぐる
磐田市埋蔵文化財センター	安久路丸山古墳発掘調査報告書、遠江国分寺発掘50周年記念シンポジウム、国分寺・国府台遺跡 -第132次発掘調査報告書-、国分寺・国分台遺跡発掘調査報告書 -平成13年度-
湖西市教育委員会	宇津山城跡、湖西の文化第27号～第30号、湖西市文化財地名表、湖西連峰の信仰遺跡分布調査報告書、太田若磯神社遺跡、大知波峠廃寺、大知波峠廃寺跡シンポジウム事業報告書、大知波峠廃寺跡Ⅳ、大知波峠廃寺跡Ⅴ、大知波峠廃寺跡Ⅵ、豊橋湖西線緊急地方道道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書、本興寺惣門保存修理工事報告書
袋井市教育委員会	平成13年度　掛之上遺跡
静岡市立登呂博物館	静岡市立登呂博物館館報12　-平成13年度-
(株)静岡人類史研究所	高蔵遺跡

【愛知県　23】	
(財)愛知県埋蔵文化財センター	まいぶん愛知No.68～No.71
(財)瀬戸市埋蔵文化財センター	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要第10輯、塩草Ｂ窯跡、江戸時代の瀬戸窯、市内遺跡調査報告Ⅲ、小長曽陶器窯跡、内田町遺跡、平成13年度瀬戸市埋蔵文化財センター年報
南山大学人類学博物館	二ツ木貝塚の土器　-拓影集-
名古屋市見晴台考古資料館	なごやの遺跡-笠寺台地-、見晴台教室'01、千音寺遺跡、千音寺遺跡(北宮田団地)発掘報告書、貞養院遺跡、天白元屋敷遺跡第4次発掘調査概要報告書、富士見町遺跡第5次・白川公園遺跡第4次、埋蔵文化財発掘調査報告書40～43、名古屋市見晴台考古資料館年報19、名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第4号
豊田市郷土資料館	花本遺跡・万加田遺跡、勘八2号墳・滝1号墳、梅坪遺跡Ⅶ、豊田市郷土資料館だよりNo.40～No.43
名古屋大学	加速器質量分析放射性炭素年代測定法による縄文時代集落の存続期間に関する研究、名古屋大学文学部研究論集143
【三重県　24】	
三重県埋蔵文化財センター	みえNo.33、粟生城跡、一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報ⅩⅣ、粥見井尻遺跡発掘調査報告、宮山遺跡(第2次)・大久保城跡、宮川用水第二期地区埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ、近畿自動車道尾鷲勢和線(紀勢～勢和間)埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ、研究紀要第12号、城堀遺跡発掘調査報告、真名井神社裏包含地発掘調査報告、発シＡ遺跡-第2次調査-、野田塚・野田遺跡
津市埋蔵文化財センター	位田遺跡(第2次)発掘調査報告、雲出島貫遺跡発掘調査報告、津市埋蔵文化財センター年報7、埋文センターニュース第15号～第16号
鈴鹿市教育委員会	伊勢国府跡4、伊勢国分寺跡1、伊勢国分寺跡2、天王遺跡(第5次)発掘調査報告、天王遺跡-第3次発掘調査報告-
上野市遺跡調査会	宮ノ森遺跡(2次)発掘調査報告、西明寺遺跡発掘調査報告(7次)
鈴鹿市考古博物館	三重のおかしな須恵器、耳飾り、鍋の一万年-煮炊きの歴史-、鈴鹿市考古博物館年報第3号
【滋賀県　25】	
滋賀県埋蔵文化財センター	死者を葬る-葬送と供養からみる祖霊観念-、滋賀埋文ニュースNo.264号～No.273号
(財)滋賀県文化財保護協会	マキノ町の文化財、宮町遺跡と紫香楽宮、近江の古城Ⅳ　玄蕃尾城跡、近代を先駆けた近江商人伊藤忠兵衛、甲賀流忍術屋敷と望月家、滋賀文化財だよりNo.277～No.287、集福寺のオコナイ、小野郷と小野氏、中山道と草津宿-草津を通った女性たち-、中山道柏原宿をひもとく
能登川町埋蔵文化財センター	能登川町埋蔵文化財調査報告書第52集～第53集
滋賀県教育委員会	下鈎遺跡、朽木陣屋跡、金山遺跡、黒田Ｂ遺跡、中畑遺跡Ⅰ、琵琶湖北東部の湖底・湖岸遺跡、平ノ前遺跡・構遺跡、弁天島遺跡・竜ヶ崎Ａ遺跡、木部遺跡Ⅰ、霊仙寺遺跡
日野町教育委員会	日野町埋蔵文化財発掘調査報告書第16集～第17集
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第39号～第42号、開館十年のあゆみ
大津市歴史博物館	大津歴博だよりNo.49
滋賀県立琵琶湖博物館	うみんど第22号～第26号、中世のむら探検-近江の暮らしのルーツを求めて-、琵琶湖博物館研究調査報告18号、琵琶湖博物館資料目録第8号
滋賀県立大学	人間文化第12号
坂田郡社会教育研究会文化財部会	佐加太第17号
【京都府　26】	
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	20年のあゆみ1981⇒2001、京都府埋蔵文化財情報第83号～第86号
(財)京都市埋蔵文化財研究所	研究紀要第8号、仁和寺院家跡(花園宮ノ上町遺跡)、平安京右京三条一坊十・十五

京都市埋蔵文化財調査センター	町跡、平安京右京三条二坊十五・十六町、平成11年度京都市埋蔵文化財調査概要 京都市内遺跡試掘調査概報-平成13年度-、京都市内遺跡発掘調査概報-平成13年度-、京都市内遺跡立会調査概報-平成13年度-
(財)向日市埋蔵文化財センター	長岡京跡ほか
綾部市教育委員会	綾部市文化財調査報告第28集、長砂南遺跡・唐部遺跡、平成12年度綾部市内遺跡発掘調査概報、平成13年度綾部市内遺跡発掘調査概報
加悦町教育委員会	送電線鉄塔建設土木工事に伴う発掘調査概報、弥生王墓の誕生-弥生社会の到達点-
園部文化博物館	おもちゃ箱-明治・大正・昭和・平成-、園部・古墳周遊-平山遺跡群とその時代-、園部文化博物館報第3号、季刊博物館だより第4号～第7号、生身天満宮宝物展
綾部市資料館	あやべ歴史のみち、綾部市資料館報第5号～第6号
古代の土器研究会	古代の土器研究3
京都橘女子大学	Tachibana Being第21号、文化財学科ニューズ・レターNo.7
【大阪府　27】	
(財)東大阪市文化財協会	瓜生堂遺跡第46、47-1・2次発掘調査報告書、段上遺跡第3・4次発掘調査報告書
(財)八尾市文化財調査研究会	久宝寺遺跡、久宝寺遺跡第22次発掘調査報告書、久宝寺遺跡第24次発掘調査報告書、教興寺跡、財団法人八尾市文化財調査研究会報告71～72、平成13年度(財)八尾市文化財調査研究会事業報告
(財)枚方市文化財研究調査会	ひらかた文化財だより第50号～第52号、禁野本町遺跡、藤阪東遺跡Ⅱ
高槻市立埋蔵文化財調査センター	高槻市文化財年報平成12年度、嶋上遺跡群26、闘鶏山古墳
堺市立埋蔵文化財センター	国史跡　土塔、堺市文化財調査概要報告第95冊～第97冊、堺市文化財調査報告第24集、堺埋蔵文化財だより第15号、平成13年度国庫補助事業発掘調査報告書
(財)大阪府文化財調査研究センター	亀川遺跡、向山遺跡発掘調査報告書、志紀遺跡(その2・3・5・6)、西浦東遺跡、川原城遺跡Ⅱ、大坂城址Ⅱ、大阪府文化財調査研究センター年報-平成12年度-、大阪府埋蔵文化財研究会(第44回)資料、大阪文化財研究第21号、大文研通信No.20～No.21、丹上遺跡・真福寺遺跡、池島・福万寺遺跡発掘調査概要ⅩⅩⅥ、池島・福万寺遺跡発掘調査概要ⅩⅩⅧ、池島・福万寺遺跡発掘調査概要ⅩⅩⅨ、津田城遺跡
泉南市埋蔵文化財センター	古代史博物館平成13年度館報
(財)大阪府文化財センター	30年のあゆみ、研究調査報告第3集、古墳出現器の土師器と実年代、讃良郡条里遺跡、小路遺跡、打上遺跡、茄子作遺跡、藤阪大亀谷遺跡、長尾窯跡群、耳原遺跡、宿久庄西遺跡、杉中責谷遺跡、摂河泉発掘資料精選、大坂城跡発掘調査報告Ⅰ、大阪府埋蔵文化財研究会(第46回)資料、大阪文化財研究第22号、大阪文化財論集Ⅱ、大文研通信No.22～No.23、年報平成13年度、麻田藩陣屋跡
枚方市教育委員会	枚方市埋蔵文化財発掘調査概要2001
東大阪市教育委員会	鬼虎川遺跡第52次発掘調査報告、鬼塚遺跡第27次・縄手遺跡第13次発掘調査概要、段上遺跡第12次発掘調査概要報告、東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告　-平成13年度-、東大阪市埋蔵文化財発掘調査概報-平成13年度-
松原市教育委員会	たじひのだよりNo.1
羽曳野市教育委員会	羽曳野市内遺跡調査報告書-平成11年度-、羽曳野市内遺跡調査報告書-平成6年度-、古市遺跡群ⅩⅩⅢ、文化財保護のてびき2002
富田林市教育委員会	平成13年度富田林市内遺跡群発掘調査報告書
貝塚市教育委員会	加治・神前・畠中遺跡発掘調査概要10、貝塚市の指定文化財-平成9～13年度指定-、貝塚市遺跡群発掘調査概要24、近木郷を考古学する-役所・寺・街道-、森下代遺跡発掘調査概要、津田北遺跡発掘調査概要、卜半斎了珍と貝塚寺内
泉佐野市教育委員会	岡ノ崎遺跡、泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要-平成13年度-
泉南市教育委員会	泉南市遺跡群発掘調査報告書ⅩⅣ、大苗代遺跡発掘調査報告書、男里遺跡群発掘調査報告書
吹田市教育委員会	七尾東遺跡発掘調査報告書、吹田の梵鐘・鐘楼、吹田市五反島遺跡発掘調査報告書　-遺構編-、千里寺本堂、平成13年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報

大阪府立弥生文化博物館	弥生倶楽部vol.22～vol.23、弥生文化博物館要覧 -平成13年度-
大阪府立近つ飛鳥博物館	紫金山古墳、西域への道 -シルクロードと大谷探検隊-、大阪府立近つ飛鳥博物館館報7、博物館だより -アスカディア・古墳の森vol.16～vol.17、未盗掘古墳の世界 -埋葬時のイメージを探る-
吹田市立博物館	吹田市文化財ニュースNo.23、吹田市立博物館館報2、川の古代祭祀 -五反島遺跡を考える-、戦争と人々の暮らし -戦時下の吹田-、博物館だよりNo.18～No.19
大阪府立狭山池博物館	重源とその時代の開発
八尾市立歴史民俗資料館	河内の綿作りと木綿生産、研究紀要第13号、八尾市立歴史民俗資料館報 -平成12年度-
【兵庫県　28】	
兵庫県教育庁埋蔵文化財調査事務所	ひょうごの遺跡第43号～第45号、まるやま遺跡Ⅱ、塩壺遺跡、貝谷遺跡、五反田遺跡、荒田神社裏遺跡、住吉宮町遺跡第33次調査、上石遺跡、西山B・C古墳群、大年山遺跡・大年山古墳、佃遺跡、的場遺跡・上ノ段遺跡、日下部遺跡発掘調査報告書、入佐川遺跡、年ノ神遺跡、年ノ神古墳群、梅田古墳群Ⅰ、兵庫県埋蔵文化財研究紀要第2号、平成12年度年報、平成13年度年報、宝林寺北遺跡Ⅱ、北口町遺跡、薬師前遺跡発掘調査報告書
妙見山麓遺跡調査会	宅原遺跡、保木遺跡・片瀬遺跡・花の宮遺跡・深田遺跡
神戸市教育委員会	深江北町遺跡第9次、沢の鶴大石蔵発掘調査報告書、淡河木津遺跡、日輪寺遺跡発掘調査報告書、平成11年度神戸市埋蔵文化財年報、野瀬遺跡
姫路市教育委員会	特別史跡姫路城跡、姫路市埋蔵文化財調査略報 -平成12年度-
芦屋市教育委員会	芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書　若月遺跡(第19地点)、芦屋市埋蔵文化財包蔵地分布地図利用の手引き、芦屋廃寺遺跡・寺田遺跡震災復興埋蔵文化財確認調査概要報告書、岩ヶ平刻印群(第11次)発掘調査報告書、三条岡山遺跡、寺田遺跡(第117地点～124地点)発掘調査概要報告書、寺田遺跡第95地点発掘調査報告書、寺田遺跡発掘調査報告書、若宮遺跡(第1・2地点)発掘調査報告書、若宮遺跡発掘調査概要報告書、津地遺跡(第19地点)、徳川大坂城東六甲採石場Ⅰ
加西市教育委員会	「玉野村」の遺跡、横尾遺跡(第2次～第4次)、岡開地遺跡(第3次)・三子遺跡(第4次)、笹倉・堂ノ下遺跡(第1次)、三子遺跡(第3次)、史跡　玉丘古墳群、小谷遺跡(第13次)、長塚遺跡、殿垣内遺跡、土井ノ内遺跡(第2次)、南上山遺跡
赤穂市教育委員会	赤穂城跡二の丸庭園錦帯池発掘調査概要、有年原・田中遺跡3
龍野市教育委員会	奥村廃寺Ⅱ
尼崎市教育委員会	尼崎市埋蔵文化財調査年報　平成7年度(2)～(3)、平成10年度尼崎市内遺跡復旧・復興事業に伴う発掘調査
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報vol.11
加古川市教育委員会	文化財ニュースNo.45
中町教育委員会	思い出遺跡群Ⅳ、思い出遺跡群Ⅴ
佐用郡教育委員会	平成12年度埋蔵文化財調査年報
兵庫県立歴史博物館	兵庫歴博ニュースNo.74～No.75
赤穂市立歴史博物館	検証・赤穂事件Part2～忠臣蔵の絵巻物
播磨町郷土資料館	館報vol.13
西近畿文化財調査研究所	平安京跡(左京四条一坊四町)
【奈良県　29】	
桜井市立埋蔵文化財センター	外鎌山北麓古墳群の調査、桜井市内埋蔵文化財1996年度発掘調査報告書1、桜井市内埋蔵文化財1998年度発掘調査報告書3、桜井市内埋蔵文化財1999年度発掘調査報告書4、桜井市内埋蔵文化財2000年度発掘調査報告書4、発掘調査30年の足跡、磐余遺跡群発掘調査概報Ⅰ、平成13年度国庫補助による発掘調査報告書、平成13年度発掘調査速報展
奈良文化財研究所	埋蔵文化財ニュースNo.105～No.110

橿原市千塚資料館	新沢千塚126号墳復元模造品作製図録
(財)元興寺文化財研究所	元興寺、元興寺文化財研究No.80～No.81、元興寺文化財研究所研究報告2001、鐘付遺跡
天理大学	古事第6冊
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第15号
奈良大学	文化財学報第二十集
奈良女子大学	金屋上司古墳発掘調査報告書、白米山西古墳群発掘調査報告書
【和歌山県　30】	
(財)和歌山市文化体育振興事業団	史跡和歌山城第23次発掘調査概報、秋月遺跡第8次発掘調査概報、太田・黒田遺跡第47次発掘調査概報、太田・黒田遺跡第49次発掘調査概報、有功遺跡第3次発掘調査概報、和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報7
【鳥取県　31】	
(財)鳥取県教育文化財団	古市遺跡群3、高福大将軍遺跡、小畑古墳群、青谷上寺地遺跡4、青谷上寺地遺跡5、茶畑六反田遺跡・押平弘法堂遺跡・富岡播磨洞遺跡・安原溝尻遺跡、坪田遺跡、年報-2001-
(財)米子市教育文化事業団	陰田第6遺跡・Ⅱ、今在家井ノ上遺跡、米子市内遺跡発掘調査報告書、米子市内遺跡発掘調査報告書(遺跡分布調査)、米子城跡第33次・36次調査、埋蔵文化財調査室年報3
(財)鳥取市文化財団	円護寺古墳群、横枕古墳群Ⅰ、下味野古墳群Ⅰ、平成13年度鳥取市内遺跡発掘調査概要報告書
倉吉市教育委員会	高原遺跡発掘調査報告書、高鼻遺跡発掘調査報告書、長谷遺跡発掘調査報告書、天平の甍「伯耆国分寺」を大いに語る、平畑ヶ遺跡発掘調査報告書
鳥取県教育委員会	むきばんだ　弥生だよりNo.3～No.4、むきばんだ遺跡、妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2001
北条町教育委員会	町内遺跡発掘調査報告書第11集～第12集
淀江町教育委員会	妻木晩田遺跡～淀江町内遺跡Ⅷ
青谷町教育委員会	青谷上寺地遺跡
【島根県　32】	
島根県埋蔵文化財調査センター	オロチのいぶき、ドキ土器まいぶんNo.17～No.20、隠岐空港発掘だより3号、屋敷古墳群・鋤崎古墳群・足頭古墳群・長廻古墳群・海部城跡ほか、下山遺跡(2)、加茂岩倉遺跡、貝谷遺跡、古志本郷遺跡Ⅳ・放れ山横穴墓群・只谷間府・上沢Ⅲ遺跡(分析編)、御崎谷Ⅱ遺跡、荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡、志津見ダム地内の遺跡、小丸遺跡、上野Ⅱ遺跡、神原Ⅱ遺跡、青銅器埋納地調査報告書Ⅰ(銅鐸編)、青木遺跡調査概報、石見銀山-龍昌寺跡-、石見銀山　石見銀山遺跡科学調査報告書、石見銀山遺跡ニュースNo.3、石見銀山遺跡総合調査概報(2)、壇原遺跡(2)自然科学分析編、堤平遺跡、殿淵山遺跡・獅子谷遺跡(1)遺構・遺物編、田中谷遺跡・塚山遺跡・下がり松遺跡・角谷遺跡、島根県遺跡地図Ⅱ(石見編)、東船遺跡、馬場遺跡・杉ヶ撓遺跡・客山墳墓群・連行遺跡、馬場遺跡発掘調査報告書、白石大谷Ⅰ遺跡・惣三堀遺跡・掘田ヶ谷遺跡・地蔵院遺跡・熊谷遺跡、斐伊川放水路発掘物語PART8、埋蔵文化財調査センター年報X、来美廃寺
(財)松江市教育文化振興事業団	舎人遺跡・荒隅城跡(小十太郎地区)発掘調査報告書、大坪遺跡発掘調査報告書、蔵文化財課年報Ⅵ　平成13年度
松江市教育委員会	佐志中通遺跡(2)、史跡松江城整備事業報告書、川頭遺跡、天神ノ元遺跡、唐津市内遺跡確認調査(18)、二ツ縄手遺跡発掘調査報告書
安来市教育委員会	小馬木Ⅱ遺跡
出雲市教育委員会	井原遺跡発掘調査報告書、下古志遺跡　-考察編-、海上遺跡、古志本郷遺跡・下古志遺跡、小山遺跡第3地点発掘調査報告書(第3次発掘調査)、小山遺跡第3地点発掘調査報告書海上遺跡、蘇る弥生の木工文化、中野西遺跡、天神遺跡(第10次発掘調査)、天神遺跡(第12次発掘調査)、白枝荒神遺跡・井原遺跡

頓原町教育委員会	梅ヶ迫製鉄遺跡、万場遺跡
伯太町教育委員会	シアケ遺跡発掘調査報告書
島根県立八雲立つ風土記の丘資料館	八雲立つ風土記の丘No.170～No.172
【岡山県　33】	
岡山県古代吉備文化財センター	下湯原Ｂ遺跡・薮澁山城跡、山崎古窯跡、所報吉備第32号～第33号、神之脇遺跡ほか、水口遺跡、百間川米田遺跡4、服部遺跡・北溝手遺跡・窪木遺跡・高松田中遺跡、福見口遺跡・殿釜遺跡・大高下遺跡・大柄畑遺跡、立石遺跡・大開遺跡・六番丁場遺跡・九番丁場遺跡
津山弥生の里文化財センター	沼Ｅ遺跡Ⅰ、津山城-資料編-解説、津山弥生の里第9号、美作国分寺跡
岡山市埋蔵文化財センター	岡山市埋蔵文化財センター年報1、岡山市埋蔵文化財速報展、岡山城三之曲輪跡、新道遺跡
岡山県教育委員会	岡山県埋蔵文化財報告32
新見市教育委員会	新見市の文化財
デジタルミュージアム開設準備室	岡山学こと始め創刊号
御津町教育委員会	備前原遺跡
大原町教育委員会	今岡廃寺
勝央町教育委員会	国司尾遺跡
牛窓町教育委員会	牛窓町古墳図
瀬戸町教育委員会	瀬戸の歴史を探る
美作町教育委員会	大塚五号墳
岡山県立博物館	あめ・つち・ひと-遺物が語る自然とのかかわり-
津山郷土博物館	広瀬旭荘の津山紀行、津山松平藩町奉行日記十、道家大門、博物館だよりNo.34～No.38
倉敷市立自然史博物館	宇野確雄植物コレクション(9)、自然史博物館だよりNo.45、倉敷市立自然史博物館研究報告第17号
岡山県立美術館	美術館ニュースNo.57～No.60
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要2001、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第28号～第29号
岡山理科大学	自然科学研究所研究報告第27号、岡山理科大学紀要第37号Ａ自然科学、岡山理科大学紀要第37号Ｂ人文・社会科学、備前焼を科学するPart2 -窯変・形態・流通-
岡山市立オリエント美術館	岡山市立オリエント美術館研究紀要18
倉敷市史研究会	新修倉敷市史第5巻「近代(上)」、倉敷の歴史-倉敷市史紀要-第12号
高梁川の水と緑を守る会	高梁川流域の自然第25号
【広島県　34】	
(財)広島県埋蔵文化財調査センター	ひろしまの遺跡第89号～第92号・特別号、灰塚ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(Ⅴ)、灰塚ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(Ⅶ)、三太刀遺跡(1)、日曽木遺跡、年報18、福原城跡
(財)東広島市教育文化振興事業団	阿岐のまほろばvol.14～vol.15、岡城跡発掘調査報告書、史跡安芸国分寺跡発掘調査報告書Ⅲ、史跡安芸国分寺跡発掘調査報告書Ⅳ、西本2,3・4,7号遺跡発掘調査報告書、土居遺跡発掘調査報告書
(財)広島市文化財団	研究連絡誌Ⅰ、広島を拓く、成岡Ｂ地点遺跡、歴史の扉第9号
広島県教育委員会	中世遺跡保存整備事業10年のあゆみ
府中市教育委員会	府中市内遺跡6～7、坊迫遺跡群、矢谷遺跡・古墳群
福山市教育委員会	井ノ岡遺跡、最明寺跡南遺跡、泉山城跡
庄原市教育委員会	割谷遺跡発掘調査報告書
尾道市教育委員会	尾道市内遺跡、名勝　浄土寺庭園保存修理報告書
広島県立歴史民俗資料館	広島の酒文化-酒蔵とともに-、広島県立歴史民俗資料館研究紀要第3集、年報第21号～第22号、霧の子孫たち-三次盆地と中国山地の古墳文化-、歴風第30号～第34号

広島大学	帝釈峡遺跡群発掘調査室年報XVI、広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査年報XVII
【山口県　35】	
山口県埋蔵文化財センター	吉永遺跡(IV地区)、郡司鋳造所跡、向田遺跡II、西遺跡、陶けん第15号、萩城跡(外堀地区)I、武久浜墳墓群、竜王南遺跡
下関市立考古博物館	あやらぎNo.7～No.8、下関市立考古博物館年報7　-平成13年度-、研究紀要第6号、瀬戸内海を介した交流
山口大学埋蔵文化財資料館	学内発掘20年の歩み、山口大学構内遺跡調査研究年報、山口大学埋蔵文化財資料館収蔵考古資料
【徳島県　36】	
(財)徳島県埋蔵文化財センター	観音寺遺跡I(観音寺遺跡木簡篇)、古町遺跡、四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告14・17・19～20・22～23
【香川県　37】	
(財)香川県埋蔵文化財調査センター	いにしえの讃岐第33号～第35号、岡清水遺跡、鴨部・川田遺跡III、県道関係埋蔵文化財発掘調査概報-平成13年度-、原間遺跡I、高松城跡(丸の内地区)、高松城跡(西の丸町地区)I、国道バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報-平成13年度-、財団法人香川県埋蔵文化財調査センター年報平成13年度、西打遺跡II、西末則遺跡、川津東山田遺跡I区、川津東山田遺跡II区、中間西井坪遺跡III、坪井遺跡、浜ノ町遺跡
高松市教育委員会	凹原遺跡、宮西・一角遺跡(平成11・12年度)、高松市内遺跡発掘調査概報、東中筋遺跡、由良南原遺跡
善通寺市教育委員会	旧練兵場遺跡、善通寺市内遺跡発掘調査調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書7、鉢伏山北東麓遺跡群・菊塚古墳発掘調査報告書
さぬき市教育委員会	花池尻中遺跡
白鳥町教育委員会	高松廃寺・成重遺跡・樋端墳丘墓
香川県歴史博物館	香川県歴史博物館ニュースvol.11～vol.14
香川大学	農学部遺跡1
【愛媛県　38】	
(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター	まいぶんえひめNo.28～No.29、愛比売-平成12年度年報-、愛比売-平成13年度年報-、紀要愛比売第2号、幸の木遺跡、祝谷西山遺跡、大久保遺跡・大久保1号墳、中城跡・底なし田II遺跡・元城跡、土居窪遺跡2次・祝谷畑中遺跡・祝谷本村遺跡2次、土居山遺跡、東峰遺跡第2・4地点・高見I遺跡、湯築城だより創刊号～2号、湯築城跡、道後町遺跡
(財)松山市生涯学習振興財団	松ヶ谷遺跡、樽味四反地遺跡、潮見山古墳群
今治市教育委員会	高橋岡ノ下遺跡・高橋具禅寺遺跡・高橋岡ノ端遺跡、高橋湯ノ窪遺跡-第3次調査-、市内遺跡試掘確認調査報告書、松木広田遺跡(松木遺跡群)I
松山市考古館	伊豫の鏡-鏡に映しだされた古代伊豫-、海を渡ってきたひと・もの・わざ、古照遺跡とその時代
愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学埋蔵文化財調査室年報-1995・1996年度-、愛媛大学埋蔵文化財調査室年報-1997・1998年度-
【高知県　39】	
(財)高知県文化財団	奥谷南遺跡群III、居徳遺跡群II、居徳遺跡群III、具同中山遺跡群III-2、具同中山遺跡群III-3、高知県埋蔵文化財センター年報11、中屋敷遺跡、田村遺跡群・緑の広場調査報告書、田村遺跡群発掘調査概報、土佐の先史文化交流、北川内遺跡、野田遺跡I、林口遺跡II・蓮池城跡北面遺跡、林田遺跡I
高知県教育委員会	埋文こうち第15号
土佐山田町教育委員会	屋舗田丸遺跡、開キ丸遺跡、新改小山田遺跡、新改西谷遺跡・勝楽寺跡、新改南ヶ内遺跡、須江ツカアナ古墳、楠目城跡、入野南山ノ陰遺跡

高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第44号～第47号
高知県立歴史民俗資料館	高知県立歴史民俗資料館開館10周年記念誌、高知県立歴史民俗資料館年報No.11
【福岡県　40】	
福岡市埋蔵文化財センター	福岡市埋蔵文化財センター年報第20号
久留米市埋蔵文化財センター	まいぶん久留米創刊号、外野遺跡・荒木今宮脇遺跡、久留米市埋蔵文化財調査集報Ⅳ、金丸遺跡-第2・4次調査-、櫛原侍屋敷遺跡、大園遺跡、筑後国府跡-平成12・13年度発掘調査概要報告-、平成13年度久留米市内遺跡群
(財)北九州市芸術文化振興財団	蒲生寺中遺跡1、貫川遺跡12、紀要-第16号-、牛丸遺跡、紅梅(A)遺跡3、高槻遺跡群、黒崎遺跡、黒崎貝塚第5次、室町遺跡第3次、紺屋町遺跡、重留遺跡第3地点、重留遺跡第5地点、重留遺跡第6地点、小倉城代米御蔵跡Ⅰ、小倉城代米御蔵跡Ⅱ、大里八反田遺跡、中村遺跡、長野尾登遺跡第2地点、長野尾登遺跡第2地点(E区～H区)、長野尾登遺跡第3地点A区、埋蔵文化財調査室年報18
福岡県教育委員会	三遺跡交流こどもフォーラム記録集、姉妹遺跡、松門寺A遺跡、西新町遺跡Ⅳ、船越高原A遺跡Ⅲ、堂畑遺跡Ⅰ、内ヶ磯窯跡2、福岡県埋蔵文化財発掘調査年報-平成12年度-、宝満山遺跡群・浦ノ田遺跡Ⅲ
福岡市教育委員会	コノリ遺跡、井尻B遺跡、井相田D遺跡、下山門敷町遺跡・下山門乙女田遺跡、吉武遺跡群XⅣ、久保園遺跡2・席田青木遺跡4、元岡・桑原遺跡群1、原東遺跡、五十川遺跡、高畑遺跡　第18次調査、鋤崎古墳、鋤崎古墳群3、西新地区元寇防塁発掘調査報告書、大原遺跡3、田島A遺跡、那珂30～32、梅林遺跡　第3次調査、博多80～85、麦野A遺跡、箱崎11～13、板付周辺遺跡調査報告書第23集～25集、飯倉C遺跡3、福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告-14-、福岡市埋蔵文化財年報vol.15、野方平原遺跡、有田・小田部第37集、立花寺B遺跡2
大野城市教育委員会	大野城市の文化財第34集
筑紫野市教育委員会	ホリ遺跡第2次発掘調査、案内遺跡、永岡遺跡、貝元遺跡1、山家地区史跡整備調査報告Ⅰ、柴田城・峯畑遺跡第7次調査、大曲り遺跡Ⅱ、大宰府条坊跡第152次発掘調査、大宰府条坊跡第165次発掘調査、峰古野1号墳、峯畑遺跡第6次発掘調査、堀池遺跡Ⅱ、柚ノ木遺跡、老松神社古墳群
春日市教育委員会	原ノ口遺跡、春日市埋蔵文化財年報9　平成12年度、須玖タカウタ遺跡、立石遺跡
前原市教育委員会	荻浦天神社裏古墳、高祖遺跡群Ⅲ、高田小生水遺跡、三雲・井原遺跡Ⅱ、三坂七尾遺跡、神在横畠遺跡、神在藤瀬家住宅、蔵持境遺跡、飯原門口遺跡
夜須町教育委員会	三並宮ノ前遺跡・本宮遺跡・鎌瀬遺跡、城山遺跡群Ⅳ、赤坂古墳群Ⅰ、赤坂古墳群Ⅱ、曽根田前田遺跡Ⅰ、曽根田前田遺跡Ⅲ、惣利遺跡Ⅰ、大木遺跡Ⅲ、中原遺跡、迫額遺跡Ⅰ、八ヶ坪遺跡、梨子木遺跡
大刀洗町教育委員会	下高橋官衙遺跡はどんな遺跡、高樋小道遺跡、史跡下高橋官衙遺跡周辺遺跡1
岡垣町教育委員会	東田古墳群Ⅱ、墓ノ尾遺跡群
九州歴史資料館	九州歴史資料館研究論集27、九州歴史資料館年報　-平成13年度-、九歴だよりNo.15、太宰府政庁跡
伊都歴史資料館	「伊都国王都・三雲遺跡」展、王のアクセサリー
福岡大学人文学部考古学研究室	矢立山古墳群発掘調査概報(2)
【佐賀県　41】	
佐賀県教育委員会	佐賀県文化財年報5～6、西山田二本松遺跡、切畑遺跡
佐賀市教育委員会	権現原遺跡、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書-1999年度-、上和泉遺跡9区、石土井遺跡・上九郎遺跡、増田遺跡群Ⅵ、増田遺跡群Ⅶ、徳永遺跡13・19区、徳永遺跡17区、徳永遺跡20区、徳永遺跡21区、徳永遺跡3区・上和泉遺跡8区、徳永遺跡7・16区、平尾二本杉遺跡Ⅰ、平尾二本杉遺跡Ⅱ
鎮西町教育委員会	北条氏盛陣跡
神埼町教育委員会	横武城跡、姉川城跡、城原二本谷遺跡Ⅰ・Ⅱ区・城原二本谷北遺跡Ⅲ区・城原二本谷南遺跡Ⅰ区、早稲隈山、馬郡・竹原遺跡群、尾崎土生遺跡Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ区

佐賀県立博物館	佐賀県立博物館・美術館報No.128
【長崎県　42】	
鷹島町埋蔵文化財センター	鷹島海底遺跡Ⅳ～Ⅶ
【大分県　44】	
豊後高田市教育委員会	荒尾・払田条里遺跡、佐野地区遺跡発掘調査報告書、払田鬼塚2号墳、嶺崎地区遺跡発掘調査報告書
天瀬町教育委員会	塚田の遺跡(本文編)
大分県立歴史博物館	おおいた歴博No.11～No.12
【宮崎県　45】	
日南市教育委員会	永野遺跡、上城跡遺跡、平成13年度日南市内遺跡発掘調査概報、平成14年度日南市内遺跡発掘調査概報
高岡町教育委員会	高岡町内遺跡Ⅶ、高野原遺跡
【鹿児島県　46】	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第29号～第30号
垂水市教育委員会	宮下遺跡・小房迫前遺跡
大崎町教育委員会	立山Ｂ遺跡
財部町教育委員会	田平下遺跡
鹿児島大学	鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報14～16
【沖縄県　47】	
沖縄県立埋蔵文化財センター	まいぶんへいこう!
【その他】	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第29号～第30号
全国埋蔵文化財法人連絡協議会	全国埋文協会報No.63
(株)文化環境研究所	カルチベイトNo.17～No.19、文環研レポート第19号～第20号
(株)国際航業	文化遺産の世界8号
(株)京都科学	ミュージアムワークスvol.11～vol.12

倉敷埋蔵文化財センター年報9
－平成13・14年度－

平成16年3月20日　印刷発行

編集・発行
倉敷埋蔵文化財センター
〒712-8046　岡山県倉敷市福田町古新田940番地
TEL 086-454-0600

The Annual Report
Of
Kurashiki Archaeological Center

Volume 9 2001·2002

Kurashiki
Archaeological Center

March 2004